

シヲ以テ鑑札料ヲ廢シテ更ニ稅トナシタレトモ猶ホ牛馬賣買免許
 鑑札或ハ古衣商質屋等ノ鑑札アリテ是等ノ鑑札料ハ彼此共ニ想像
 所謂根據ナキノ算則ニ外ナラス既ニ此想像ノ算則ニ由ルモ經驗上
 ヨリ一變シテ始メテ適當ノ地ニ達スルモノナリ西洋各國ノ實例ニ
 照ラスモ皆然リ故ニ根據ナキノ算則ナリトシテ之ヲ擯クルハ酷論
 ナリト云ハサルヲ得ス又取締法アラハ鑑札料ナキモ可ナリト云フ
 ハ道理ナキノ言ナリ何トナレハ自家用料ニ鑑札料ヲ收メサレハ之
 ヲ醸スモノ増殖スルハ當然ノコトナリ之ヲ醸スモノ増殖セハ乃チ
 營業者ノ造石減シテ無稅ノ酒ヲ飲ムノ徒増加スルナリ然ラハ則國
 庫收入額ヲ減少スルヲ如何スヘキヤ畢竟八拾錢ヲ收メントスルハ
 無稅酒ヲ飲ムノ徒ナカラシメンカ爲メナリ然レトモ之ヲ五拾錢ニ

減シ或ハ壹圓ニ増スモ其可ナルヤヲ知ラサレトモ之ヲ實施經驗ノ
 後ニアラサレハ遂ニ其適度ヲ知ルニ由ナカラシノミ

○卅四番^{三補}

本官ノ修正說幸ニ問題トナリシニ三番一番ノ反對論

アルニ逢ヘリ蓋シ本官ノ鑑札料ヲ削ルハ大理由ノ存スルアルニ由
 テナリ前會以來原案維持家ナル廿九番ハ一步ヲ讓リテ八拾錢ヲ五
 拾錢ト爲スノ修正說アリタリ原案家ニシテ此修正說アルハ畢竟算
 則ナキノ原案ナルヲ徵スルニ足ルヘシ三番ハ又之ヲ壹圓トナスト
 キハ稅トセサルヘカラスト云ヘリ豈壹圓ナレハ必ス稅ト名クヘシ
 トノ理アルヘケンヤ苟クモ徵スルヲ得ヘキ理由アリテ徵スルノ鑑
 札料ナリトセハ其拾圓ヲ收ムルモ何ノ不可カアラン本案既ニ主務
 省ノ上申案ニハ貳圓トアリシト聞ケリ是レ其稅ノ性質タルヲ知ル

ヘシ既ニ税ナリトセハ宜シク平等ナランコトヲ望ム前ニ自家用料
 ハ一石ノ限リアレハ若シ税率ヲ用ヒハ一斗毎ニ差別セサルヘカラ
 スト述シハ唯其平等ヲ望ムノ點ヨリ比喩セシニ外ナラスシテ決シ
 テ自家用料ヨリ徵税スヘシト云フノ主義ニアラス一番ノ根據トス
 ヘキ算則アルノ理ナシト云フハ聞クヲ得タレトモ其檢査ニ至テハ
 之ヲ爲スヘカラスト云フハ聞クヲ得ス此ノ如キハ甲乙ノ人民ヨリ予
 ハ一斗ヲ醸セリ予ハ三斗ヲ造レリト届出テ八拾錢若クハ三拾錢ヲ
 收メテ鑑札ヲ授クルハ易ヤタル事ニシテ決テ難事ニアラス然レト
 モ是等ノ反語ハ唯論者ノ參考ニ供スルニ過サルナリ猶ホ反對論者
 アラハ充分ニ削除ノ理由ヲ答辨セントス今述フル所ハ僅ニ其端緒
 ノミ

○十一番 津田 眞道

本官ハ本案ヲ存スルノ論者ナリ反對論者ハ一石一斗
 ノ別ヲ問ハス同ク八拾錢ヲ收ムルハ不可ナリト云ヒ木札紙片ヲ以
 テ製スルノ鑑札ナレハ八拾錢ノ價アル者ニアラスト云ヘリ是思ハ
 サルノ甚シキモノナリ看ヨ營業者ニシテ三拾圓ノ免許税ヲ收ムル
 ハ即チ鑑札料ニアラスシテ何ソヤ而シテ此免許税タル敢テ十石百
 石千石五千石ノ別ヲ問ハス均ク之ヲ收ム然レハ則チ自家用料ノ一
 石一斗ノ別ヲ問ハスシテ均ク八拾錢ヲ收ムルハ恰モ其比例宜キヲ
 得タル者ナラスヤ又一例ヲ舉ンニ彼ノ鳥獸獵免許鑑札ノ如キモ遊
 獵ハ拾圓職獵ハ壹圓ナリ其獵者熟練ニシテ猪鹿百千萬頭ヲ獲ルモ
 未熟ニシテ雉兔一羽ヲ獲サルモ均ク拾圓若クハ壹圓ヲ收メサルヲ
 得サルト一般是レ其所得如何ニ關スルノ鑑札料ニアラサレハナリ自

家用料ヲ釀ス者ヲシテ八拾錢ヲ納メシムルモ恰モ彼ノ遊獵免許ニ於ルカ如シ而シテ其名ハ免許稅トスルモ鑑札料トスルモ其實ハ即チ稅ナリ從來ハ酒類小賣營業者ヨリモ鑑札料ヲ收メタリ假令札ノ字ナルモ木札紙片ノミヲ授クルニハアラス即チ稅ヲ收メテ之ヲ免許スルノ證ヲ與フルナリ既ニ此ノ如ク唯八拾錢ヲ收ムルト三拾圓ヲ收メ仍ホ造石ニ就テ重稅ヲ徵スルトヲ比較セハ八拾錢ハ恐ラク薄稅ナラン又免許稅三拾圓ハ之ヲ百石ニ徵セハ重稅ナルヘシト雖モ千石ニ徵セハ薄稅ナリ本案主務省ノ上申案ニ貳圓トセシハ至當ノコト、ス故ニ本官ハ反テ之ヲ増サントスルノ考案アレトモ之ヲ減シ若クハ削ラントスルハ決シテ首肯セス要スルニ八拾錢ハ木札紙片ノ工費ニハアラス各位モ札ノ字義ニ疑惑ナク本案ニ可決センコ

トヲ望ム

○卅一番鍋島

幹

本官ハ廿九番ノ修正消滅セハ更ニ修正說ヲ提出セン

コトヲ豫陳セシニ卅四番ニ先ンセラレタリ其說タルヤ本官ノ意見ト大同小異ナルニヨリ之ヲ贊成ス論者ハ八拾錢ヲ存セサレハ取締周到セスト云フト雖モ本官ハ八拾錢ヲ存セハ却テ取締周到セサルヘキヲ恐ル蓋シ寒地ノ寒ヲ防クカ爲メニ僅ニ一斗ヲ製シ又貧士族ノ清酒ヲ買フ能ハサルカ爲メニ些々貳斗ヲ釀ス等ノコトアルニ敢テ一石一斗ヲ間ハス悉ク之ニ八拾錢ヲ納メシムルハ其收稅官吏ノ長輩ニ於テモ事情忍ヒサルノ心ヨリシテ自然顔面相對シテ默止スルカ如キ事アリテ之ヲ緩慢ニ付シ終ニハ一石以上ヲモ緩慢ニ付スルヲ期スヘカラス若シ夫レ此弊ナカラシメントシテ嚴重ニ檢査セ

ハ或ハ器械ヲ沒收スル等益々忍ヒサルノ實況ニ陷ラン此ノ如キ事ヲ爲スハ固ヨリ人ノ好ム所ニアラサレハ終ニ相率ヒテ緩慢ニ付スルニ至ルヤ疑ナシ事此ニ至ラハ却テ營業者ヲ保護スルノ實ヲ失フニヨリ寧ロ忍ヒサルノ鑑札料ヲ廢シテ別ニ取締法ヲ立ルコソ營業者保護ノ實ニ協ハンノミ

○廿九番 渡邊清 問題ハ不同意ナリ元來此取締ハ何ノ爲メニ之ヲ要スル乎ヲ問ハ、營業者ヲシテ支障ナク納稅セシメンカ爲メニシテ決シテ自家用料ノ取締ニノミ拘泥スルニアラサルナリ然ルニ論者ハ強テ自家用料ノ取締ニ傾クカ如キノ解ヲナスハ何ノ意タルヲ知ラス此附則タル即チ營業者ノ稅ヲ收ムルカ爲メノミ若シ營業者ノ收稅ナクンハ何ソ此附則ヲ要センヤ故ニ營業者ト權衡ヲ保タシメン

トスルハ豈當然ノコトナラスヤ本官前ニ五拾錢ト修正セシハ唯貨幣ノ種類ニヨリ納稅ヲシテ便ナラシメントスルノ意ニシテ決シテ本案ノ精神ヲ妨クルニアラサリシ然ルヲ鑑札料八拾錢ヲ除テ單ニ届出ニ止ムルノ修正ハ本官其可ナルヲ知ル能ハス元來原案ノ主旨ハ稅額ヲ定メテ石高ニ收稅スルト違ヒ唯自家用料ヲ釀スカ故ニ免許ヲ受ケ八拾錢ノ鑑札料ヲ納メシメ若シ之ニ從ハサレハ第八條ニ由テ處分スルモノニシテ所謂自家用料ヲ釀スモノニ安心シテ薄稅ノ酒ヲ飲マシムルノ器具ト云フヘキ者ナリ然ルニ此安心器具ノ眼目タル八拾錢ヲ除テ届出ニ止メハ後條ヲ如何ニ修正スルヤハ未タ之ヲ知ラサレトモ此鑑札料ヲ除カハ酒ヲ釀スモノト他ノ酒ヲ釀サ、ル普通人トノ區別ナカルヘシ既ニ區別ナキ以上ハ何ヲ以テ自家

用料ヲ醸スノ徒タルヲ知ラン若シ汝ハ自家用料ノ酒ヲ醸スノ届出
 ヲナセシヤト問フテ然リト答ヘハ更ニ詞ノ推スヘキナカラシク況ヤ
 其答ノ詐欺ナルヤ否ハ推究スルニアラサレハ分明セサルヲヤ然ラ
 ハ則チ現問題ハ唯其手數ヲ増スニ過キサルノミ本案ノ如クスヘシ
 ○十一番 津田 眞道 卅一番ハ貧士窮民ノ爲メニ情實忍ヒサルヨリ之カ收
 稅吏モ見遁スノコトアリト云フハ最モ解スヘカラサルノ言タリ收
 稅吏ニシテ豈然ル如キ情實アリテ可ナランヤ蓋シ收稅吏ハ檢察官
 ト同シキ者ナリ故ニ西洋ノ諺ニ人家ハ城廓ナリト云フモ收稅吏檢
 察官ハ之ニ突入スルヲ得ルノ權アルナリ即チ犯罪者アレハ主人之
 ヲ拒ムモ檢察官ハ突入シテ之ヲ捕縛シ不納者アレハ收稅吏モ亦突
 入シテ之ヲ督責ス宜ナルカナ彼ノ收稅吏ヲ恐ル、コト獄吏虎狼ヨ

リモ甚シキノ語アルヲ假令貧民ノ身代限ニ至ルモ之カ稅ヲ徵スル
 ハ即チ納ムヘキノ義務ヲ闕クニ由テナリ故ニ收稅吏ハ原諒スヘキ
 地藏尊タルヘカラスシテ苛責スル閻羅王タラサルヘカラスハ獄
 吏ノ獄卒ヲ驅リ警察官ノ犯人ヲ捕フルト一般ナレハナリ苟モ法律
 ヲ布ク以上ハ政府ハ人民ヲ酷ニ之ヲ待ヲ好マサレトモ既ニ法ニ背
 ク徒アレハ其土地家屋ヲ公賣スルモ到底之ヲ徵收セサルヘカラス
 彼ノ人力車夫ハ多クハ貧人ナレトモ稅ヲ納メサルトキハ其生計ノ
 資ニ供スル人力車ヲ區役所ニ沒收スルニアラスヤ且彼ノ車夫ノ納
 稅ハ壹圓ナレトモ此自家用料ハ貳拾錢ヲ減シテ僅ニ八拾錢ナリ而
 シテ其貧富ヲ問ヘハ苟クモ自家用料ヲ醸ス徒ハ人力車夫ノ比ニア
 ラサルヘシ何ソ卅一番ノ云フ如キ情實アルヘケンヤ

○十三番 鍋島直彬 本官ハ問題ノ賛成者ナリ廿九番十一番ヨリ駁議ヲ與ヘラレタルニヨリ之ヲ辨解セン十一番ハ鑑札料八拾錢ハ木札紙片ノ製造代價ニアラス其名鑑札料ト云ヒ免許ト云フモ其實皆稅ナリ然ルニ鑑札代ニシテハ高價ナリト云フハ思ハサルノ甚シキ者ナリト云ヘリ本官ハ知ル名ハ實ノ實ニシテ實ノ變スルニ從フテ名モ亦變セサルヲ得サルコトヲ又主務省ノ上申案ニハ貳圓ナリシヲ八拾錢ニ定メシハ營業稅ト比較スレハ實ニ薄稅ナルニヨリ更ニ貳圓トナスモ可ナリト云ヘリ果シテ然リトセハ何ソ貳圓トナスノ修正說ヲ出サ、ルヤ惟フニ内閣ノ八拾錢ニ減セシハ忍ヒサルノ情即チ自家用料ヲ製スルハ營業ト異ナルヲ以テ多額ヲ徵スヘカラサルノ旨趣ニ外ナラサルヘシ豈鑑札料ト營業免許稅トヲ同一視スヘケンヤ

廿九番ハ附則ハ決シテ自家用料ヲ檢束スル爲メニアラスシテ即チ營業者ノ納稅ヲシテ支障ナカラシメンカ爲メナリト云ヘリ其意ヲ推測スルニ自家用料ニ收稅セサレハ無稅酒ヲ飲ムノ徒多キヲ加ヘ爲メニ營業者ヲ妨ケ國庫ノ收入ヲ減スト云フニアルヘシ然レハ則チ八拾錢ヲ増スモ之ヲ減スルノ議論ハナカルヘキニ前ニ廿九番ハ八拾錢ヲ五拾錢ニ減スルノ修正說アリシハ何ノ意ソヤ本官ハ本則ヲ以テ自家用料ノ檢束法ナリトス内閣委員モ新刑法實施以來違令違式ニ間フコト能ハサルヲ以テ一石以上ヲ超ルノ犯則者アルモ之ヲ處分スルノ法ナク終ニ此改正ナカルヘカラスト云フニアラスヤ廿九番ノ他ノ論ヲ指テ不當ト云フハ却テ夫子自カラヲ指稱スルナキヲ得ンヤ

○三番長岡護美 本官前陳ノ主旨卅四番ノ論辨ノ爲メニ或ハ空茫ニ失シ

タルノ概アルモ本官ノ前陳ハ即チ煙草小賣商輩ト同ク壹圓ニテハ重シト云ヒシノミナリ

○卅四番三浦安 了解セリ然レトモ復タ言ハス

○議長 卅四番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者八人

○議長 少數ナルヲ以テ卅四番ノ修正ハ消滅ス

○卅一番鍋島幹 本官ハ既ニ一種ノ修正說ヲ懷キシニモ管セス卅四番

ニ同意セシニ該修正說ノ消滅ニ歸シタルヲ以テ更ニ自己ノ修正說ヲ提出セン即チ八拾錢ノ八ノ一字ヲ削ルニアルナリ前陳ノ如ク八

拾錢トアレハ到底稅ノ性質ヲ含有スルヲ以テ少數ノ一斗二斗ヲ釀

スモ同ク八拾錢ヲ收メントスルハ不可ナリトスルナリ又取締ノ爲

メニ此苛稅ヲ收メントスルハ事實行ハルヘカラサルコトニシテ是

亦前陳ノ如ク却テ一石ニ近キ自家用料ヲ漏稅セシムルニ至ルヘシ

且自家用料ト營業酒トハ素ヨリ比例ヲ爲スヘキ者ニアラス蓋シ營

業者ハ販賣ノ形況ニ應シテ其造石ヲ増スラ得ヘシト雖モ自家用料

ハ皆其戸口ニ應シ一斗二斗或ハ五斗ヲ必要トシテ釀ス者ニシテ固

ヨリ賣買ヲ爲スニアラサレハ別ニ多額ノ酒ヲ造ラサルナリ是レ自

家用料ト營業酒トヲ同一視スヘカラサル所以ナリ然レトモ論者ノ

說ノ如ク眞ニ營業者ヲ保庇スル爲メニ此法ヲ設クルモノトセハ全

ク稅ノ性質アルモノヲ以テ名ヲ鑑札料ニ籍ルカ如キハ到底其取締

ノ實ヲ舉ル能ハス本官ノ今止ムヲ得ス拾錢ヲ收メントスルノ意ハ

鑑札製造ノ工賃ニ過サルナリ此意ヲ推シテ後條ヲ修正セハ必ス其取締ノ周到ヲ得ヘキヲ信スルナリ

○十三番 鍋島直彬 附則ヲ憂慮スルハ前陳ノ如シ蓋シ自家用料ヲ制束スルニ此嚴法アルハ好マサル所ナルニヨリ前會ニ於テ既ニ全削ニ決シ之ヲ上奏セシニ更ニ又再議ニ付セラレタリ

○議長 十三番ハ三十一番ヲ賛成スルニアル乎

○十三番 鍋島直彬 然リ

○議長 序言ヲ簡潔ニセンコトヲ望ム

○十三番 鍋島直彬 諾セリ既ニ反覆思考シテ前ニ卅四番ヲ賛成セシニ不幸ニシテ問題ハ消滅セリ抑モ鑑札料ヲ全廢スルハ本官ノ精神ナリ今卅一番ヨリ拾錢ニ減スルノ修正說ハ一斗二斗ニ應シテ鑑札料ヲ

上下スルノ制限ナシト雖モ其精神ニ至テハ大ニ稅ト異ニシテ原案ニ比スレハ猶ホ可ナルヲ以テ已ムヲ得ス之ヲ賛成ス蓋シ内閣ノ主旨タル此八十錢ヲ收ムルハ其實取締ノ爲メニ外ナラサレハ苟クモ取締ノ實アル以上ハ強テ其主旨ニ戻ルト云フニハ非サルヘシ

○議長 卅一番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○外番 渡邊昇 十三番ハ鑑札料ハ取締ノ爲メニ外ナラサレハ之ヲ修正スルモ既ニ其取締ノ實アル以上ハ内閣ニ於テモ強テ之ニ熱中セサルヘシト云フカ如キ語勢ヲ以テ屢次本案ニ反對ノ說アルモ内閣ノ意タル固ヨリ然ルニアラス本官八拾錢ハ到底動カスヘカラストスル者ニシテ苟クモ本官ノ云フ所ハ即チ内閣ノ議ナリ豈此他内閣ノ議アラシヤ

○十五番 伊丹重賢

本官モ八拾錢ヲ削ルノ論者ニシテ卅四番ノ修正説ニ起立シタレトモ不幸ニシテ消滅セシモ今提出ノ卅一番修正説ハ恐ラク鑑札料ノ主義ニ協フヘシ某議官ハ其名ハ鑑札料ナルモ其實ハ税ナリト云フト雖モ本官ノ眼光ハ紙背ニ透ル能ハサルニヨリ札鑑料ヲ以テ税ト解スルヲ得サルナリ又貴重ナル木札紙片ヲ以テ製セハ或ハ八拾錢ノ價ヲ費スヘシト雖モ此鑑札ハ恐クハ粗末ナル者ナルヘシ因テ拾錢ヲ徵セハ可ナランノミ其八拾錢ヲ削ルノ理由ハ各位ノ陳述ニ讓リテ復タ之ヲ贅セサレトモ若シ鑑札料ヲ税ナリト云ハ、何ヲ以テ鑑札税トセスシテ鑑札料ト爲スヤ不可思議モ亦甚シト云フヘシ

○廿九番 渡邊清

問題ハ不同意ナリ最前ヨリ陳述スル如ク本則ハ獨リ

自家用料ヲ取締ル爲メニアラスシテ併セテ營業者ヲ保護スル爲メナレハ八拾錢ヲ減シテ拾錢トナストキハ無税酒ヲ飲マシムルニ均シキ者ナレハ終ニ營業者ヲ保護スルノ主義ニ反スルナリ又拾錢ナレハ純然タル鑑札料ナリト云フト雖モ之ヲ鑑札代トスレハ拾錢ハ猶ホ不當ナリ且ヤ鑑札料トハ云ヘ自家用料ヲ醸スカ爲メニ收ムルノ金額ナレハ之レ税ニアラスシテ何ソヤ動モスレハ苟クモ取締ヲ得ハ可ナリト云フノ論點ニ傾クハ好マサル所ナリ要スルニ八拾錢ヲ減シテ五錢拾錢トナストキハ營業税ト權衡ヲ失フノミナラス終ニ營業者ニ關スル此附則ノ取締ヲ全フスル能ハサルナリ

○卅一番 鍋島幹

本官ノ修正説幸ニ問題トナリシニ廿九番ヨリ駁論ヲ發セリ其論中拾錢トナストキハ營業税ト權衡ヲ失フト云ヘリ然ル

ニ廿九番ハ紙幣ニ五拾錢壹圓ノ種類アルニヨリ之ヲ五拾錢トナス
 ヘシト本條ヲ輕視シテ修正說ヲ提出セシ論者ニアラスヤ既ニ五拾
 錢ニテ可ナリトスル以上ハ拾錢何ソ不可ナルコトアルヘケンヤ而
 シテ其所謂權衡トハ營業者ニ對スルノ語ナルヘシ然リト雖モ他ハ
 間稅ニシテ此ハ直稅ナリ直稅間稅ノ互相權衡ヲ得サルハ當然ニシ
 テ固ヨリ疑フヘキニアラス若シ夫レ強テ權衡ヲ云ハ、既ニ自家用
 料ニ八拾錢ヲ收ムトスルトキハ一斗一石ヲ間ハスシテ之ヲ收ムル
 不權衡アルニアラスヤ故ニ拾錢ニ減輕シテ猥ニ一石以上ヲ超サル
 ニ檢束スルコソ營業者ヲ保護スルノ實ニ協ハンノミ蓋シ自家用料
 ニ此取締アルハ營業者ヲ保護スル爲メナレハ勉メテ自家用料ノ弊
 ヲ防遏シテ營業者ヲ妨ケシメサルニ外ナラサルナリ

○卅四番

三浦安

卅一番ハ單ニ八ノ一字ヲ削リテ本條ヲ金科玉條トナ
 セリ大ニ之ヲ贊成ス蓋シ本官ノ前修正說ハ稅ノ意アルヲ嫌フテ然
 リシト雖モ今拾錢トナストキハ全ク鑑札受授ノ手数料ニシテ敢テ
 賦稅ノ意ニアラサルヲ表スルニ足ラン此ノ如キ各案ノ出ルハ抑モ
 再議ニ付セラレタルノ效能ナリ既ニ之ヲ全削セントスルニ對シテ
 ハ反對論者モアリシト雖モ今ノ問題ノ如クンハ恐ラク各案トシテ
 一致可決スルナラン

○九番

渡邊洪基

現問題モ主點タル八ノ字ヲ削ルハ猶ホ龍ヲ畫テ睛ヲ點
 セサルモノ、如ク不可ナリトス論者ハ一斗ヲ釀スモ一石ヲ釀スモ
 同ク八拾錢ヲ課スルハ營業稅ヨリモ高キノ概アリト云フト雖モ營
 業者モ亦百石ヲ釀スモ千石ヲ釀スモ同ク免許稅三拾圓ヲ出スニア

ラスヤ若シ一斗ヲ醸シテ八拾錢ヲ納ムルハ則チ得失相償ハストセ
 ハ唯之ヲ醸サ、ルヘキノミ又單ニ鑑札代トセハ拾錢ハ仍ホ重キニ
 失セリ要スルニ此鑑札料ハ醸造ノ權理ヲ受クル爲メニ拂フノ義務
 ナルニ鑑札代ノ爲メニ僅ニ拾錢ヲ收メントスルハ鄙吝ト云フヘシ
 ○十一番 津田 眞道 鑑札料ヲ税ニアラスト云フハ其意ヲ得ル能ハス夫ノ
 外國等ニ在テモ約束書ニ照ラシテ税關ノ小吏ハ貨物ヨリ貳圓五圓
 ノ手數料ヲ收ムルノコトアリ是レ手數料ト稱スルモ其實ハ則チ税
 ナリ我戶籍法ニモ下付原案ニハ手數料ノ字面アリタルニアラスヤ
 又古昔モ租庸調ノ法アリテ皆是税ナリ苟クモ邦國ノ徵收スル所ノ
 物ハ其何ヲ問ハス税ノ字ヲ付セサレハ税ト解スヘカラストスルノ
 頑論アラシヤ意フニ料ノ字若シ意ニ慊カラスハ税ト修正スルハ

素ヨリ不可ナシ内閣ノ意モ蓋シ本官ト同一ナルヘシ三千五百萬ノ
 人民モ亦マサニ本官ト同一ノ解ヲナスヘシト信ス問題ハ大不同意
 ナリ

○十番 柴原 和 修正委員會ニ於テモ鑑札料ニ付テノ說一致スル能ハス
 故ニ本官ハ若シ減輕ノ說ニシテ議場ニ出ルアラハ之ヲ賛成スヘシ
 ト豫陳セリ向ニ廿九番ノ修正說ニ起立セサリシハ卅一番ノ說アル
 ノ機會ヲ待チシニ由テナリ今ヤ削除論ヲ一轉シテ五錢或ハ拾錢ヲ
 收メテ取締法ヲ立ルトノ說ハ佳妙ナルニヨリ乃チ之ヲ賛成ス

○議長 卅一番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ
 起立者九人

○議長 少數ナルヲ以テ三十一番ノ修正ハ消滅シ即チ本條ヲ可ト認

メ次條ニ移ルヘシ

○十一番津田眞道 次條ヨリハ議論少ナカルヘキニヨリ修正委員ノ修正

ヲ加ヘサル條項ヲ除キ他ハ連帶討議ニ付センコトヲ建議ス

○議長 十一番ノ建議ヲ採用シ即チ第二第三第四條ヲ問題ニ付ス

書記官森山茂 朗讀

第二條 免許ハ其年十月一日ヨリ翌年九月三十日迄ヲ以テ一期ト

ス

第三條 自家用料ノ酒類ハ一家内ニ於テ一期製造高壹石二種以上製造スル

者ハ其總石數ヲ合算スヲ超ユルヲ得ス若シ之ヲ超ユル時ハ總テ本則ニ從フ

ヘシ

第四條 自家用料ノ酒類ハ其住居セル一家ノ外ニ於テ之ヲ製造ス

ルヲ得ス

○議長 本條々ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十九人

○議長 多數ナルヲ以テ本條々ニ決ス

書記官森山茂 朗讀

第五條 自家用料ノ爲メ製造シタル酒類ハ賣買貸借スルヲ得ス

○廿一番箕作麟祥 貸借ノ字ヲ削リシハ本官輩前會ノ修正ト異ナルコト

ナシ然ルニ本官復ターノ修正說アリ即チ賣買スルヲ之ヲ賣捌ク

トナサント欲ス本官輩モ前會ニハ意此ニ至ラサリシコト恰モ本案

修正ト同シ惟フニ此賣買タルヤ原案ニ於テハ第九條ノ科料ニ處シ

本案ニ於テハ第八條ノ罰ニ處スト雖モ元來罰ハ賣者ニ間ヒ買者ヲ

罰スヘキモノニアラス何トナレハ賣者アラサレハ買者ナキニヨリ
 テナリ而シテ本則ハ都テ賣捌ク者ニ罰アリテ之ヲ買フ人ニ罰ナキ
 ハ即チ第廿九條ノ但書ノ如シ又前回ニ於テ決議上奏セラレシ第三
 十一條ニモ賣捌キ賣渡讓與トアリテ買者ニ罰ナシ尤モ行政上ノ都
 合ニヨリテハ賣買兩者ヲ罰スヘキコトナキニハアラスト雖モ酒造
 稅則ノ如キハ統テ賣者ヲ罰スルノ通則ナル以上ハ買者ヲ罰スルハ
 不可ナリトス殊ニ本案ノ如クシハ原案第十條ノ不論罪ニカ、リ即
 チ刑法第七十五條第一項ノ外ハ之ヲ免カル、コト能ハサルナリ内
 閣ノ意モ蓋シ此ニ在リシナラン況ヤ第八條ニモ賣捌キノ字面アル
 ヲヤ

○卅四番 三浦安

廿一番ノ辨明スル如ク内閣モ全ク熟字ヲ誤リテ此ニ

至リシナルヘキヲ信スルニヨリ廿一番ヲ賛成ス

○九番 渡邊洪基 賛成

○議長 廿一番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○九番 渡邊洪基 現問題ノ意味ニハ同意スレトモ其字面ニハ同意スルコ

ト能ハス惟フニ賣捌トハ商家慣用ノ語ニシテ現實賣ルヲ得ヘキ物
 品ニ對スルモノナレハ賣ルヲ得サル自家用料ニ對シテハ其字面穩
 當ヲ闕ケリ故ニ廿一番若シ本官ノ言ヲ容レハ本則第廿三條ト同ク
 販賣ノ字ニ改メハ如何若シ又容レスンハ本官更ニ此修正說ヲ提出
 スルアラント欲ス

○三番 長岡護美 本官ハ問題ヲ賛成ス何トナレハ本則中ニモ既ニ賣捌キ

ノ字面アルニヨリテナリ

退席

二十番

海江田信義

○廿一番 笑作 麟祥 九番ヨリ本則第二十三條ニ販賣ノ字アルニヨリ之ニ

從ハ、如何トノ忠告アリト雖モ本則第二十三條ハ前會決議上奏セ

ラレシモノニシテ即チ賣捌キノ字アリテ販賣ノ字ナキナリ縱令然

ラサルモ附則第八條中ニモ之ヲ賣捌キタル者ハ云々トアリ然レハ

則チ九番ノ忠告ニ從ヘハ亦第八條ヲ修正セサルヲ得サルナリ前後

左右共ニ賣捌キトアル以上ハ忠告アルニモ拘ハラヌ前説ヲ主持ス

○九番 渡邊 洪基 附則第八條ハ既ニ規則ヲ犯シテ制限外ニ出タルモノナ

レハ賣捌キトアル素ヨリ不可ナシ但シ賣ルヘキモノニアラサルヲ

賣ル時ニハ大概商家慣用語タル賣捌キノ字面ヲ用ヒスシテ販賣ノ

字面ヲ用ヒタルハ彼ノ本則第廿一條ニ販賣スルヲ許サストアルカ

如キナリ

○外番二番 神輿 知常 原案ニ賣買トアルハ蓋シ自家用料ヲ製造スル徒ハ素

ヨリ營業者ニアラサルカ故ニ招牌ナキナリ此招牌ナキ家即チ營業

ノ爲メニアラスシテ自家用料ニ供スル爲メナルヲ知りナカラ之ニ

就テ買フハ其買フ者ハ未タ酒ヲ得サル前ニ既ニ罪ヲ犯セル者ナリ

故ニ之ヲモ罰セントスルニアルナリ

○三番 長岡 護美 番外二番ノ説ノ如クシハ益々原案ヲ修正セサルヘカラ

ス賣物ニアラサルニ就テ之ヲ買フハ初メヨリ既ニ罪ヲ犯セルナリ

ト云フト雖モ若シ賣ラスンハ何ソ之ヲ買フヲ得ヘケシヤ買フヲ得

スンハ則チ罪ナキナリ況ヤ其營業者ニアラサル者ニ就テ買ハント

スル徒ハ悉ク惡心アリテ然ルニモアラサルヲヤ然ルヲ罰金三圓以

上三拾圓以下ニ處スルハ酷モ亦甚シ又九番ノ説アレトモ既ニ本則第二十三條ニモ檢査未濟ノ酒類ヲ賣捌キ云々ノ字面アレハ賣捌キノ字前後ニ照應シテ可ナルヲ覺フルナリ

退席

十六番

大久保一翁

○廿二番榎村正直 本官ハ前會本會共ニ修正委員トナリテ調査セシニ現問題ノ字面ニハ注意到ヲスシテ止メリ今廿一番ノ説ヲ聞テ始メテ其疎漏ヲ悟レリ之ヲ賛成ス

○十番柴原和

本官モ亦廿二番ノ陳述ト同理由ヲ以テ之ヲ賛成ス

○外渡邊昇 一番

修正委員中ニモ往々賣買ノ字面ニ注意到ヲサリシト云フヲ以テ現問題ヲ賛成スルニヨリ之ヲ辨明セサルヲ得ス蓋シ原案ニ賣買兩者ヲ罰スルノ意ヲ掲ケタルハ自カラ深意アリテ然ルナ

リ敢テ賣捌キノ字ヲ誤テ賣買トセシニアラス即チ營業者ニ就クハ不廉ナリ自家用料ニ就クハ廉ナリトシテ現ニ招牌ナキ家ニ就テ之ヲ買フハ有心故造ノ罪ナリ彼ノ本則第二十九條ハ招牌ヲ見テ就ク者ナレハ賣ル者罪アリテ買フ者罪ナキハ盜品ナルヤ否ヲ知ラスシテ之ヲ買フト同一ノコトタリ誰カ招牌アル營業者ノ家ニ到リ此家ハ免許營業ナリヤ否ヲ問フテ後買フ者アランヤ是ヲ以テ此第五條ハ有心故造ナルカ爲メニ賣買兩者ヲ罰シ本則第二十九條ハ獨リ營業者ノミヲ罪シ需求者ヲ罰セサルナリ

退席

九番

渡邊 洪基

○卅四番三浦安

原案ハ賣捌キノ字ヲ誤テ賣買トセリト信セシニ番外

一番ヨリ喫驚スヘキ説明ヲ聞ケリ此ニ至テ始メテ信ス原案ニ貸借

ノ字アリシコトヲ惟フニ情ヲ知テ之ヲ買フハ罪ナキニハアラサレ
トモ既ニ情ヲ知テ之ヲ賣ル者アレハコソ情ヲ知テ之ヲ買フ者モア
ルヘシ然ルニ刑法第七十五條第一項ヲ除クノ外都テ不論罪ヲ用ヒ
サル罪ニ陷ルハ酷法ナラスシテ何ソヤ比喩ハ陋卑ナリト雖モ今日
密賣淫ノ如キ風俗ヲ亂ル甚シキ者スラ尙ホ賣ル者ヲ罰シテ買フ者
ヲ罰セサルニアラスヤ番外一番ノ云フ如キ細密ニ涉リテ法ヲ布カ
ントセハ其際限ナカルヘシ愈々廿一番ヲ賛成ス

退席

八番

伊集院兼寛

○廿一番 笑作 隣祥 本條ノ意味ハ本官ノ修正說ニ外ナラサルヘシト信セ
シニ圖ラサリキ番外一番ノ陳述スル如クナラントハ益以テ之ヲ修
正セサルヘカラス且番外一番ハ本則第二十九條ヲ引証セリ然レト

モ八拾錢ノ鑑札料ヲ納メテ其自家用料ヲ賣ルモノト三拾圓ノ免許
税即チ營業鑑札料ヲ納メスシテ詐テ營業スル者ト其罪ノ輕重如何
ソヤ況ヤ營業免許鑑札ハ其番號記號アルヲヤ何ソ三拾圓ヲ納メス
シテ之ヲ得ヘキノ道理アラシヤ自家用料ハ之ヲ賣リシ者固ヨリ惡
シト雖モ之ヲ買フ者ハ本則第二十九條アルヲ知ラサル者モアル
ヘシ必スシモ通謀シテ賣買スト云フヘケン果シテ番外一番ノ言ノ
如クセハ本則第三十一條ヲ知ラスシテ檢査未濟ノ酒ヲ買フタル者
ハ何如ノ罰アルヘキヤ田舎間ニハ酒造家近隣ニアラサルヨリ隣家
ニ就テ自家用料ヲ貸借スルコト等モ常ニアルコトナリ故ニ初メハ
輕ヤタル意思ヲ以テ修正シタレトモ今ヤ大ニ其修正ノ意ヲ確フシ
タリ

退席

十一番 津田 眞道

○廿九番 渡邊清 現問題ヲ賛成ス本官ハ實ニ廿一番ノ修正説ニハ注意

到ヲサリシナリ内閣委員ハ有心故造云ヤト論スレトモ田舎ニハ行
旅人輩ハ其營業者ナルヤ否ヲ知ラス唯酒アルカ爲メニ自家用料ヲ
買フコトアルヘシ故ニ賣ル者ハ罪アルモ買フ者ニハ無罪トセサル
ヘカラス

○十五番 伊丹重賢 現問題ヲ賛成ス

○議長 廿一番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者十七人

○議長 多數ナルヲ以テ廿一番ノ修正ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第六條 自家用料ノ酒類ヲ製造スル者免許鑑札ヲ失却毀損スルカ

或ハ代替改名轉居セシ時ハ管廳ニ申出再渡又ハ書換ヲ請フヘシ

第七條 自家用料ノ酒類ヲ製造スル者ハ主任官隨時之ヲ検査スヘ

シ

○議長 本條々ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十四人

○議長 多數ナルヲ以テ本條々ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第五條

第八條 第一條第三條第四條ヲ犯シタル者ハ五圓以上五拾圓以下

ノ罰金ニ處シ仍ホ犯罪ニ係ル物品及ヒ器械ヲ沒收ス之ヲ賣捌キ
タル者ハ其代價ヲ追徴スヘシ

第九條 第五條ヲ犯シタル者ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

○卅一番 鍋島 幹 本條ヲ修正シテ第一條第三條第四條第五條ヲ犯シタル者ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處シ仍ホ酒類ヲ沒收ス之ヲ賣捌キタル者ハ其代價ヲ追徴スヘシトナサント欲ス惟フニ營業ノ犯罪ト自家用料ノ犯罪トハ自カラ輕重ナキ能ハス何トナレハ自家用料ハ一石ノ制限ヲ超ルモ太タシキ巨額ニハ上ラサルナリ之ニ反シ營業者ハ脱税ノコトアリ故ニ本則ニ於テモ脱税ノ爲メノ犯罪ハ罰金モ重ク取締上ノ怠慢ハ科料ニ止メテ輕シ是レ本條ヲ科料トセサレハ本則ト輕重ノ權衡ヲ保ツ能ハストナス所以ナリ又其酒類ト其賣捌キ代價ハ已ムヲ得ス之ヲ沒收スルモ夫ノ器械ヲモ具備

セスシテ唯便宜ニ桶類ヲ用ヒテ醸スカ如キ自家用料ナレハ此器械即チ桶類ヲモ沒收スルハ酷ニシテ明日ヨリ直ニ浙ヲ接スル能ハサルニ至リ世人之ヲ一聞セハ必ス其感觸ノ甚シキヲ信スルナリ

書記官 森山 茂 朗讀

第八條 第一條第三條第四條第五條ヲ犯シタル者ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處シ仍ホ酒類ヲ沒收ス之ヲ賣捌キタル者ハ其代價ヲ追徴スヘシ

○議長 卅一番ノ修正說ハ書記官ノ朗讀セシ文案ニ違ハサル乎
○卅一番 鍋島 幹 然リ差ハサルナリ

退席

廿一番

箕作 麟祥

○卅四番 三浦 安 賛成ス其理由ハ發議者ノ言フ如シ即チ器械ニ及ハサ

○ルモ酒類ヲ沒收セハ足ランノミ但シ卅一番ニ間フ原案第九條ハ素ヨリ削除ノ精神ナリヤ

○卅一番 鍋島 素ヨリ然リ

○議長 卅一番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○十番 柴原和 本官等修正委員ニ於テ第八條中ニ第五條ノ文字ヲ插入センカ爲メニ原案第九條ヲ抹殺シテ報告セリト信セリ今卅四番ノ言アルヲ見レハ或ハ其抹殺ヲ怠リシニハアラサラン乎

○議長 報告案ニハ第八條ニ第五條ノ文字ヲ插入シテ原案第九條ヲ抹殺スルコト十番ノ陳述ノ如シ

○十番 柴原和 然ラハ安心セリ

○議長 卅一番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者七人

○議長 少數ナルヲ以テ卅一番ノ修正ハ消滅ス即チ本案ヲ可ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 朗讀

第十條 九 此規則ヲ犯シタル者ニハ本則第三十七條及ヒ第三十八條ヲ適用ス

○議長 本案ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者十一人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ即チ第二讀會ヲ了ル

○外番 渡邊昇 既ニ第二讀會ヲ了リシ以上ハ内閣特ニ急施ヲ要スル

ニヨリ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ請求ス

○議長 番外一番ノ請求ニ應スヘシトスル者ハ起立スヘシ

○議長 起立者九人ニテ第二讀會ニ付テハ以上ハ内閣府ニ送付ス

○議長 多數ナルヲ以テ直ニ第三讀會ヲ開クニ決ス

○議長 退席 卅五番 本田 親雄

○議長 第四條中第三項ハ第二讀會ニ消滅セシニヨリ三項ノ字ハ無論ナルヲ以テ之ヲ省クヘシ

書記官 森山 朗讀 第三十八號

第四條二項

酒類製造新規願ノ者ハ造石高左ノ制限以上ニアラサレハ免許セス

清酒 百石

濁酒 拾石

○廿九番 第一類 清酒 濁酒 二類 三類 五石

○廿九番 第二讀會ニ原案第三項ノ消滅セシハ遺憾ニ堪ヘサル

所ナリ蓋シ二項三項ハ唇齒相保チ輔車相依ルカ如キ者ナレハ一方

ヲ存シテ一方ヲ廢スヘカラサルナリ故ニ之ヲ修正シテ第四條二項

新ニ酒造營業ヲ願出ル者ハ其郡區内同業者ノ協議ヲ得總代ノ連印

ヲ以テ願出ヘシ其造石高ハ左ノ制限以上ニ限ル者トス清酒百石以

下本文ニヨル前陳ノ如ク二項三項ハ相呼應シテ保護ヲナス者ナル

ニヨリ今之ヲ一括シテ修正スルコト兩リ

○廿二番 本官モ原案第三項ヲ存スルノ論者ナルニヨリ之ヲ賛

成ス

○廿六番 關口 隆吉 賛成

○三十番 野村素介 賛成

○十四番 河瀬真孝 賛成

○廿七番 黒田清綱 賛成

○議長 廿九番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○卅四番 三浦安 現問題ハ甚タ不同意ナリ其理由ハ第二讀會ノ論旨ニ

異ナラス唯文章ヲ前後セシノミナリ而シテ論旨ハ現問題ノ如クセ

サレハ兩手ノ一ヲ闕クカ如ク論スレトモ本官ハ之ニ反シテ問題實

ニ兩手ノ一ヲ闕ク者トス明治ノ初年以來既ニ廢止セラレタル株式

ヲ以テ獨リ酒類營業ニ限り故ニ復スルハ即チ兩手ノ一ヲ闕ク不具

ニアラスシテ何ソヤ

○十三番 鍋島直彬 廿九番ノ修正説ハ定數ノ賛成者ヲ得サルヘシト信セ

シニ之アルハ怪ムヘキナリ第一讀會ニモ辨明セシ如ク政府ハ制限

以上ナラハ許可スルノ精神ナルニ拘ハラス營業者ヨリ新規願ノ者

ヲ妨拒スルヲ得セシムルニ至テハ政府ノ威嚴ニ關シ極メテ體裁ヲ

失フ者タリ請願ノ路ヲ開ク今日ニ方リテ此ノ如キハ施政ノ主義ニ

アラサルヘシ

○十番 柴原和 廿九番ノ修正説問題トナリ我論者十五名中既ニ六名ノ

退席アルニ至リタレハ辨護スルモ効ナカラシカ唯問題説ニ決セン

コトヲ慨嘆スルノミ

○議長 廿九番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者七人

○議長 少數ナルヲ以テ廿九番ノ修正ハ消滅ス即チ本案ヲ可ト認メ

次案ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 朗讀

酒造稅則附則

第一條 自家用料ノ酒類飲料ニ用ヒ醬油等ニ混和シ及ヒ其他ノ用ニ供スルモノヲ製造スル者ハ管廳ヘ届出製造免許鑑札ヲ受ケ鑑札料金八拾錢ヲ納ムヘシ

○卅四番 三浦安 本條ハ體裁上甚々不可ナルニヨリ第二讀會ニ卅一番ノ提出セシ修正說ヲ用ヒ即チ八拾錢ヲ拾錢ト修正ス

○卅一番 鍋島幹 賛成

○十五番 伊丹重賢 賛成

○十三番 鍋島直彬 賛成ス實ニ自家用料ニ八拾錢ヲ納メシムルハ國家ノ安寧ニ關スルヲ以テ必ス拾錢トナサルヘカラス

○議長 卅四番ノ修正說ハ定數ノ賛成者ナキニヨリ消滅ス

○十三番 鍋島直彬 卅四番ノ修正說消滅セシハ遺憾ナレハ更ニ修正說ヲ出シ止ムナクンハ貳拾錢トナサント欲ス

○議長 十三番ノ修正說ハ賛成者ノキヲ以テ消滅ス即チ本條ヲ可ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 朗讀

第二條 免許ハ其年十月一日ヨリ翌年九月三十日迄ヲ以テ一期ト

ス

○議長 發議ナキヲ以テ本條ヲ可ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 朗讀

第三條 自家用料ノ酒類ハ一家内ニ於テ一期製造高壹石二種以上製造スル

者ハ其總石ヲ超ユルヲ得ス若シ之ヲ超ユル時ハ總テ本則ニ從フ

ヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ本條ヲ可ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 朗讀

第四條 自家用料ノ酒類ハ其住居セル一家ノ外ニ於テ之ヲ製造ス

ルヲ得ス

○議長 發議ナキヲ以テ本條ヲ可ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 朗讀

第五條 自家用料ノ爲メ製造シタル酒類ハ之ヲ賣捌クヲ得ス

○議長 本條ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十一人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第六條 自家用料ノ酒類ヲ製造スル者免許鑑札ヲ失却毀損スルカ

或ハ代替改名轉居セシ時ハ管廳ニ申出再渡又ハ書換ヲ請フヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ本條ヲ可ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 朗讀

第七條 自家用料ノ酒類ヲ製造スル者ハ主任官隨時之ヲ検査スヘシ

シ

○議長 發議ナキヲ以テ本條ヲ可ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 朗讀

第八條 第一條第三條第四條第五條ヲ犯シタル者ハ三圓以上三拾

圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ犯罪ニ係ル物品及ヒ器械ヲ沒收ス之ヲ
賣捌キタル者ハ其代價ヲ追徴スヘシ

○卅一番 鍋島 幹 第二讀會ニ於テ本條ノ修正說ヲ提出セシニ一二ノ少

數ヲ以テ消滅セシハ遺憾ナリ蓋シ自家用料ノ犯罪ハ僅ヤノ少額ナ
ルニ多額ノ罰金ニ處スルハ重キニ失スルナリ既ニ酒類ヲ沒收シ賣
捌キ代價ヲ追徴セハ足ラン而シテ再犯ノ徒ハナカルヘシ營業者ノ
故ヲニ法網ヲ脱シテ射利ヲ之レ營ム者トハ大ニ其旨ヲ異ニセリ故
ニ第二讀會ノ修正說ヲ提出ス其修正ハ議長ノ机下ニアリ書記官ヲ
シテ朗讀セシメラレンコトヲ望ム

書記官 森山 茂 朗讀

第八條 第一條第三條第四條第五條ヲ犯シタル者ハ壹圓以上壹圓

九拾五錢以下ノ科料ニ處シ仍ホ酒類ヲ沒收ス之ヲ賣捌キタル者
ハ其代價ヲ追徴スヘシ

○十三番 鍋島 直彬 再ヒ卅一番ノ修正說アリ既ニ第一條ノ鑑札料八拾錢

ニ成立セシ以上ハ小民ノ之ヲ納ムルコト能ハサルモノ多ヤ生スル
ヤ必セリ而シテ斯ノ如キ小民ナルトキハ復タ其罰金ヲ納ムルコト
能ハスシテ禁錮ニ代ヘラル、ノ徒陸續踵ヲ接スルニ至ラハ人民ノ
感觸其レ將タ如何ソヤ各位モ卅一番ヲ賛成センコトヲ望ム

○卅四番 三浦 安 賛成

○十五番 伊丹 重賢 賛成

○三番 長岡 護美 賛成

○十九番 楠本 正隆 賛成

○議長 卅一番ノ修正説ハ成數ノ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○廿九番 渡邊清 問題ハ不同意ナリ蓋シ三圓以上三拾圓以下ノ罰金ハ

重キニ失スルカ如クナレトモ元來酒造稅則ハ特別ノ嚴法ナレハ獨

リ本條ニ至テ斟酌ヲ加ヘハ却テ權衡ヲ失ヒ終ニ本則ニ附屬シテ取

締ヲ得サルニ至ルヲ信スルナリ彼ノ本則第三十七條第三十八條ヲ

適用スルノ精神モ全ク正濶其權衡ヲ失ハサランカ爲メナリ

○卅四番 三浦安 現問題ヲ賛成スルノ理由ヲ述ヘン抑モ罰ハ其根源ヲ

顧ミテ之ヲ附セサルヘカラス即チ附則原案ノ五圓五拾圓ヲ三圓三

拾圓ト修正セシハ營業者免許稅三拾圓ヲ顧ミテノコトナラン此營

業者ハ造石上ニテ利ヲ得ル者ナレハ三拾圓ノ免許稅ヲ納ムルモ不

可ナク亦之ニ應スルノ罰金アルモ不可ナケレトモ自家用料ハ八拾

錢ヲ納メ而シテ其醸ス所ハ一石以下ナレハ全ク之ヲ賣捌クモ三拾

圓ニ達セサルナリ然ルヲ他ノ營業者ト同ク三圓以上三拾圓以下ノ

罰金ニ處シ且粗末ナル器械トハ云ヘ之ヲ沒收スルトハ根源ヲ顧ミ

サルノ罰則ト云ハサルヘカラス論者ハ非常法ナルカ故ニ此ノ如シ

ト辨明スレトモ敢テ戒嚴令ノ如キ非常法ニハアヲサルナリ他ノ法

律ニモ恐クハ此不權衡ナカルヘシ卅一番ノ說恰モ本官ノ意ニ符セ

リ之ヲ賛成ス

○十五番 伊丹重賢 大ニ問題ヲ賛成ス前會以來其罰輕ケレハ之ヲ犯スモ

ノ多キノ說アレトモ決シテ然ルニアラス既ニ舊政府ハ拾圓以上ヲ

盜メハ之ヲ死刑ニ處シ改定律例ハ三百圓以上ヲ死刑トナシ今ヤ幾

百萬圓ヲ盜ムトモ死刑ニ處セサルナリ而シテ盜賊ノ統計ハ敢テ前

後罰ノ緩急ニ應シテ増減ナキヲ見レハ罰輕ケレハ犯人多シトノ説ハ敢テ當ルニアラサルヲ徴スヘキナリ

○三番長岡護美 本官ハ問題賛成者ノ一人ナリ惟フニ往昔ハ法ノ嚴ナル

ヲ尊ミタレトモ當時ハ各國共ニ法ノ精密ヲ尊ンテ其嚴ヲ取ラサルノ形勢ナリ故ニ罰則ヲ嚴ニスルハ實際苛酷ナリトス夫ノ一家内ニ突入シテ器械ヲ沒收スルカ如キハ不都合ノコトナルヘシ既ニ取締法アル以上ハ嚴罰ヲ設ケスシテ可ナリ

○一番神田孝平 本官ハ問題ニ反對説ナリ論者ハ本案ヲ苛酷ナリト論スレトモ全體營業者ハ造石稅三倍ノ罰即チ拾貳圓ノ罰金ニ處セラル、者ナリ自家用料ノ犯則者ヲ考フルニ第三條ノ制限ヲ犯ス者ヲ多シトセン而シテ其制限ヲ超ルノ度ハ推測スヘキニアラサレハ或ハ

拾石貳拾石ヲ釀ス如キニ會ハ、三拾圓ノ罰金ハ猶輕シ況ヤ營業者三倍ノ罰金ニ比スルモ猶輕キヲヤ故ニ三石以上ヲ造レハ其三石ヲ沒收サル、モ以上ハ作り徳トナルナリ豈反對論者ノ辨スル如キ酷ナランヤ

○議長 卅一番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者六人

○議長 少數ナルヲ以テ卅一番ノ修正ハ消滅シ即チ本條ヲ可ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官森山茂 朗讀

第九條 此規則ヲ犯シタル者ニハ本則第三十七條及ヒ第三十八條ヲ適用ス

○議長 本條ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十一人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ決シ即チ第三讀會ヲ了ル決議ノ次第ヲ具シ例ニ遵ヒ上奏スヘシ散會セヨ

午後第五時四十分閉場

元老院會議筆記明治十五年十二月十四日

禁傍聽

○第三百六十一號議案 米商會所并株式取引所仲買人納稅規則制定ノ儀 明治九年第五百五號布告中改正ノ儀
明治十一年第三十號布告中改正ノ儀 第一讀會 廿六番
議長 佐野常民

出席議員

- 廿二番
- 廿一番
- 一番 神田 孝平
- 四番 岩下 方平
- 六番 林 友幸
- 八番 伊集院兼寛
- 九番 渡邊 洪基
- 十番 柴原 和

十一番 津田 眞道

十三番 鍋島 直彬

十四番 河瀬 眞孝

十五番 伊丹 重賢

十六番 大久保 一翁

十九番 楠本 正隆

廿一番 箕作 麟祥

廿二番 榎村 正直

廿六番 關口 隆吉

廿七番 黒田 清綱

廿九番 渡邊 清

元...

○第三百六十一號議案

即前十一...

編...

出...

第四編 村友邦 神金 野村 素介

第一編 其 銅島 幹

第二編 河田 景興

第三編 本田 親雄

第四編 東久世 通禎

第五編 安場 保和

第六編 鈴木 利亨

午前第十時開場

○議長 第三百六十一號議案第一讀會ヲ開ク書記官朗讀ノ後例ニ遵

書記官 森山 朗讀

布告案

米商會所并株式取引所仲買人納稅規則左ノ通制定シ 年 月 日

ヨリ施行ス百六十一號

米商會所株式取引所仲買人納稅規則

- 第一條 米商會所仲買人定期賣買ヲ爲ストキハ賣買双方ヨリ各約定代金高千分ノ五ヲ納稅スヘシ
- 第二條 株式取引所株式仲買人公債證書并諸株式ノ定期賣買ヲ爲ストキハ賣買双方ヨリ各約定代金高千分ノ一ヲ納稅スヘシ
- 第三條 第一條第二條ノ場合ニ於テ定期内ニ轉賣又ハ買戻ヲ爲ス者ハ其轉賣又ハ買戻ニ係ル稅ヲ免除ス
- 第四條 株式取引所金銀貨仲買人金銀貨ノ取引ヲ爲ストキハ賣買

双方ヨリ各其取引代金高千分ノ二半ヲ納稅スヘシ

第五條 賣買ヲ解約スルコトアルモ其稅金ハ之ヲ還付セス

第六條 稅金ハ賣買双方ヨリ會所又ハ取引所ニ納ム可シ

第七條 會所及取引所ハ仲買人ヨリ納メタル稅金ヲ每一箇月取纏

メ翌月十日限り地方廳ニ上納スヘシ

第八條 稅金徵收ノ規則ハ大藏卿ノ達ヲ以テ之ヲ定ム可シ

第九條 大藏卿ハ地方廳ニ委任シ又ハ隨時官吏ヲ派出シ納稅ノ精

算ヲ檢査セシムヘシ

第十條 稅金ヲ納メスシテ賣買取引スル者ハ脫稅高三倍ノ罰金ニ

處シ仲買人ノ認許ヲ差止ムヘシ

第十一條 前條ノ罰金ハ仲買人ノ身元金ニ對シテ第一先取ノ特權

第十二條 會所及取引所ニ於テ本則納稅ノ取締ヲ怠ルトキハ米商會所條例第十九條株式取引所條例第四十八條及本年第四十六號布告ニ依リ處分シ仍ホ其資本金ヲ以テ納稅ノ欠額ヲ追徵スヘシ

右奉勅旨布告候事

明治九年八月第五號布告米商會所條例第十條第三節中約定代金高十分ノ二トアルヲ十分ノ一ト改メ第十五條第一節中賣買手數料總金高十分ノ四トアルヲ十分ノ二ト改ム但同年二月八日ヨリ施行ス

右奉勅旨布告候事

明治十一年九月第三十號布告株式取引所稅額ノ儀手數料其他現收セ
ル總金高十分ノ一トアルヲ賣買手數料總金高十分ノ一ト改ム但
年二月八日ヨリ施行ス

右奉勅旨布告候事

○番一 安場 保和 本案ヲ制定サレシハ參事院議長ノ奏議ニ具陳スル所
ノ理由ニ外ナラス即チ當時國家起スヘキ事業ノ要件多端ナルヲ以
テ之ニ應スルノ費用ニ充テシカ爲メ米商會所并株式取引所仲買人
ニ課稅セハ若干ノ金額ヲ得ヘク且其課稅タルヤ敢テ民情ニ背馳ス
ルニアラサルヲ以テナリ猶逐條ノ質疑ハ從テ答フルアランノミ

○十一番 津田 眞道 本官ハ本案ノ大躰ヲ可トス抑モ往日某議官ヨリ米商
會所廢止ノ意見書ヲ提出シ本官モ之ヲ贊成セリ然ルニ其意見書未

夕上奏セサルニ先チ政府ハ既ニ米商會所條例ヲ改正布告セシヲ以
 テ該意見書ハ自然消滅ノ姿トナリタリ本官ハ前日ノ意見ニ溯テ之
 ヲ觀レハ本案ヲ可トスヘカラサルニ似タレトモ既ニ酒造稅則ノ改
 正其他目下增稅ヲ要スルノ條件多端ナルノ際ナレハ已ムヲ得ス亦
 之ヲ賛成スルニ在ルナリ聞クカ如キハ本案ヲ發スルトキハ少クト
 モ貳百萬圓ノ歲入ヲ増スヘシト此豫算ノ差フト差ハサルトハ米商
 會所株式取引所向後ノ景況如何ニアルヘシト雖モ苟モ軍實ヲ張ル
 爲メニ巨額ノ經費ヲ要スル今日ニシテ酒類及本案ノ如キ課稅ノ外
 更ニ此ノ如キ巨額ノ經費ヲ支フヘキ物ナキニヨリ往日ニ至リ米商
 會所廢止ノ意見書ヲ上奏スルモ到底其行ハレサルコトハナルヘシ
 何トナレハ米商會所ハ假令人ヲ不良ニ導クノ汚點アリトスルモ若

シ之ヲ廢止シ他ニ課稅ノ途ナクンハ收稅ノ已ムヲ得サルヨリ目下
 及數十年ノ後ニ至ルモ他ニ數百萬圓ヲ徵スヘキ途ヲ得サルノ間ハ
 未來永劫廢止スルコト能ハサレハナリ思フテ此ニ至レハ實ニ哀ム
 ヘキノ極タリ然リト雖モ之ヲ哀シトシテ止ムトキハ終ニ外國ト並
 立スヘカラサルニヨリ亦如何トモスル能ハス因テ本案ヲ可トスル
 ノミ但シ本官米商會所ノ現存ヲ好マサルノ論旨ハ今日猶昨日ニ異
 ナラサルナリ

○廿一番 辨作 購祥

本官モ亦十一番ト同ク國庫ヲ充タス爲メニ已ムヲ得
 サルニ出ル增稅ナルヲ以テ本案ノ大体ヲ賛成ス蓋シ酒類ノ稅率モ
 増加シタレハ米商會所株式取引所ニ增稅スルハ素ヨリ不可アルコ
 トナシ論者或ハ米商會所ハ賭博ニ均キ性質ヲ具フル者ナルニヨリ

廢止シテ可ナリト云フヘシト雖モ能ク之ヲ考究スルトキハ亦必ス
シモ社會ニ益ナシト云フヘカラス勿論道德上ヨリ之ヲ論スレハ僥
倖心ヲ起シ破産ノ弊ヲ醸ス者ナルヲ以テ之ヲ廢止シテ可ナルカ如
シト雖モ彼ノ酒煙或ハ人寄席貸坐舖ノ如キ社會ニ於テ緊要ナラサ
ルモノモ尚ホ禁止スルコト能ハサルヲ以テスレハ此米商會所等ハ
之ヲ現存シ國庫ノ空乏ニ遇フニ方リテハ正當ナル地租等ヲ増サン
ヨリハ寧ロ此ノ如キ善惡不定ノ性質アルモノニ課税スルハ尤モ其
當ヲ得タリトス然リ而シテ從來米商會所等ヨリ収ムル所ノ税額ハ
僅々ナレトモ今賣買雙方ヨリ約定代金十分ノ五ヲ納ムトスレハ合
計千分ノ十トナルニヨリ國家必要ノ費用ヲ支フルノ一助タルハ言
ヲ埃タス本案ヲ可トスル既ニ此ノ如シト雖モ猶一二ノ質問アリ即

チ第三條ニ其轉賣又ハ買戻ニ係ル税ヲ免除ストアリ此轉賣買戻ハ
共ニ定期内ニ於テ甲ヨリ乙ニ乙ヨリ丙ニ傳フルモノナルヘキヲ以
テ相當ノ税ヲ徵收シテ可ナルヘキニ之レニ免除ノ宥恕ヲ與フルハ
何ソヤ又第二布告案ノ證據金ノ事タルヤ明治九年ノ布告ニハ約定
代金高十分ノ一トアリシヲ同十三年ニ十分ノ二ニ増セリ蓋シ是レ
税ニ關スルモノニアラスシテ契約者甲乙間ノ保證金ナリ要スルニ
人民私約上ノ事ナレトモ往々其弊アルカ爲メ既ニ増シテ十分ノ二
トセシニ拘ハラス今本案ヲ以テ之ヲ十分ノ一ニ減セントスルハ想
フニ納税ヲ増加センカ爲メニ外ナラサルヘシ然レトモ此證據金ハ
素ト私約上ノ保證ヲ堅クスル者ナルトキハ強テ之ヲ減セサルモ可
ナルカ如シ而シテ其之ヲ減セシハ何ソヤ

○番 鈴木 第三條轉賣買戻ノ稅ヲ免除スル所以ヲ述シ元來此契約タルヤ特ニ確定シタル物品ニアラス例セハ米百石ヲ賣ルヘシ買フヘシトスルトキニ方リ其約定代金高十分ノ五ヲ納メシムルニアリテ即チ此百石ノ賣買ニ就キテハ既ニ納稅ヲ了リタル姿ナリ而シテ此納稅既了ノ物ヲ以テ他ニ轉賣スルカ故轉賣者ハ其稅ヲ免除シ更ニ之ヲ買フ者ヨリ納稅セシムルナリ又買戻ハ一旦賣渡シタル者ヲ買戻スニヨリ賣方ハ稅ヲ納メシムルモ買方ハ同物ヲ再ヒ買戻スモノナレハ之ヲ納メサルナリ若シ此定期内ノ轉賣買戻ノ稅ヲ免除セサルカ如キコトアラハ定期ハ普通九十日ノ慣習ニシテ此間ニハ七十回モ轉賣スルモノナルニ因リ其轉賣毎ニ納稅セシメハ例ヘハ百圓ノ物品ニテ七十圓ノ納稅トナルナリ且手數料モ轉賣ニハ納メ

○サルノ規則ナレハ縱令其性質ハ違フトモ同ク納稅セシメサルナリ又第二布告案ニ現行約定代金高十分ノ二ヲ十分ノ一トセシハ現行法ハ十三年以來今年六月ニ至ルマテ何ノ爲メニ十分ノ二ヲ預リシヲ知ラサレトモ恐クハ其弊ヲ防クニアリシナランカ然レトモ此證據金ハ相場ノ高低ヲ目的トシテ之ヲ預リ而シテ其相場ノ高低ト云フモ一時ニ一割モ上下スヘキモノニアラサレハ良シヤ違約者アルモ既ニ十分ノ一ヲ納メシメハ其損失ヲ償フニ充分ナルヲ以テナリ惟フニ現行法ノ如ク十分ノ二トスルトキハ法律定規ニ遵ヒ官許ヲ得タル米商會所株式取引所内外ニ於テ竊ニ現場賣買其他類似ノ取引ヲ爲シ及ヒ情ヲ知テ賣買取引ノ場所ヲ給與シ若クハ其賣買取引ヲ幫助スルノ弊ヲ生シ終ニ十三年第二十一號ノ布告ヲ要スル如キ

ニ至ルナリ現ニ今年モ蠟穀町等ニ取引停止ノ命アリテ裁判ヲ煩ハシタルコトアリ蓋シ證據金ハ相場ノ高低ニヨリテ差異ヲ定ムルニ過スシテ他別ニ要スヘキモノニアラス之ニ反シテ證據金ヲ減スルキハ其營業ヲ爲シ易キカ爲メ密賣買ヲナスコト少ク皆共ニ會所内ニ於テ公ケニ之ヲ爲スカ故ニ本人ハ罰ニ觸ル、ノ苦痛ナク政府ハ國庫ノ減少ヲ憂フルコトナシ況ヤ違約者アリテモ十分ノ一ヲ收ムレハ其損害ヲ償フニ充分ナルヲヤ又況ヤ米商會所條例第十條第二節ニ追證據金増證據金ヲ差入レシムルコトヲ得トノ明文アルヲヤ更ニ進言スレハ十分ノ一ニ減セシカ爲メニ仲買人ニ餘裕ヲ與ヘ納税ニ甘從セシムルヲ得アルナリ

○廿二番 榎村 正直 本案大躰ニハ同意ヲ表スレトモ廿一番ノ質問ニ對ス

ル番外ニ番ノ答辨ニ就テ疑アリ即チ番外ニ番ハ轉賣者ヨリハ税ヲ納メス買者ヨリ之ヲ納ムト云ヘリ然レハ買戻ハ買方ハ免税シ賣方之ヲ納ムル乎果シテ然リト云ハ、第六條ニ税金ハ賣買双方ヨリ納ム可シトアルハ何ソヤ又第十一條ニ罰金ハ仲買人ノ身元金ニ對シテ第一先取ノ特權ヲ有スヘシトアリ既ニ第一ノ字アル以上ハ先取ノ特權中ニ於テ第二第三第四等ノ先取特權ナルモノナキ能ハサラレ如何

○番ニ 鈴木 利亨 轉賣ノ免税トハ一旦賣買ノ約ヲナシ即チ納税濟ノ品ヲ他ニ轉買スル時ヲ云フニアルナリ要スルニ當初買方ニテ納税ヲ了リタル物品ヲ他ニ轉買スルトキハ更ニ税ヲ納メサルモ其之ヲ買フ者新規ナルトキハ其者ヨリ税ヲ納メシムルナリ然レトモ若シ其

買フ者新規ニアラスシテ最前既ニ其物品ヲ賣渡シタル者ナルトキハ賣買双方共ニ前既ニ納税ヲ了リタル者ナルニヨリ之ヲ免除スルナリ買戻ノ例モ亦然リ例ヘハ甲ヨリ乙ニ賣リ復タ乙ヨリ甲ニ賣戻セハ双方共ニ之ヲ免除スルハ前既ニ納税ヲ了リタルモノナルヲ以テナリ而シテ此第三條ハ第一第二條外特別ノ場合ニシテ第六條ハ第一條ヨリ第四條マテヲ總管シタル者ナリ故ニ第六條ト第三條トヲ照應セハ恐ラク分明ナラン第十一條ニ第一先取ノ持權トアリテ特ニ此第一ノ字ヲ掲ケシハ深慮ノアルアリテ然ルナリ即チ米商會所條例第十一條第三節ニ手数料口錢ハ其決算ノ時ニ至リ賣買取引ニ關スル他ノ債主ニ先ツテ之ヲ收受スルコトヲ得トアルニヨリ之ヨリモ仍ホ先ツテ取ルノ意ヲ見ハスカ爲メナリ

○一番 神田 孝平

先般來下付セラレシ増税議案ハ皆已ムヲ得ス左袒シタ

レトモ本案ハ中心喜ンテ之ヲ贊成スルナリ蓋シ現行法ハ千圓ノ賣買約定ヲナスニハ證據金二百圓ヲ預ケ更ニ手数料若干ヲ納メタレトモ本案ハ證據金百圓ヲ出シ税金五圓手数料二圓ナレハ即チ千圓ノ賣買ヲナスニ百七圓アレハ足レリトス之ヲ現行法ノ千圓ヲ賣買スルニ二百四圓ヲ要スルニ比スレハ五圓ノ税ハ百圓ノ利息ト見做シ自然ニ湧出スルノ姿トナルヲ以テ賣買者ノ營業ヲ爲シ易キヤ想フヘキナリ某議官ハ證據金ヲ減セハ取引上ニ危キナカランカト論スレトモ是レ介意ヲ要セサラン元來十分ノ一ナリシヲ十分ノ二トセシハ買盛ルヲ抑ユル爲メ即チ賣買ニ影響ヲ及ホスノ弊アリシヲ以テナルヘキモ其實際ノ取引ニ於テハ十分ノ一ニテ充分ナラン

ト信ス本案ノ如キハ實ニ奇々妙々ニシテ納税者モ知ラス識ラス増
 税ノ爲メニ便ヲ得ルノ道理ヲ具フルモノトス若シ夫レ米商會所ノ
 道徳上ニ害アル如何ノ如キハ古今ノ一大問題ニシテ敢テ今日ニ始
 マルニモアラサレハ此等ノ事ハ靜ニ之ヲ議到シテ可ナリ

○廿九番 渡邊清

本官モ本案ノ大躰上ニ同意ナレトモ少ク内閣委員ニ
 質サント欲ス本案ハ米商會所定期賣買ノ税ハ千分ノ五ヲ納メ公債
 証書並諸株式定期賣買ノ税ハ千分ノ一ヲ納メ金銀貨取引ノ税ハ千
 分ノ二半ヲ納ムヘシトセリ蓋シ此等ノ税率ハ米公債証書金銀貨ヲ
 間ハス共ニ其時ノ開キ相場ニ由テ之ヲ定メ即チ其税率ノ基礎トス
 ル所ハ一月間ノ平均ヲ見ル等ニテ然ルヘシト信スルニ今本案之ヲ
 區分シテ千分ノ五千分ノ一千分ノ二半トナセシハ如何ナル算則ヨ

リ來リシヤ本官意ヲク金銀貨ト公債証書ノ如キハ格別ノ差ナカル
 ヘシト然ルヲ千分ノ一千分ノ二半トノ差アルハ何ソヤ請フ之ヲ質
 サン

○外番 鈴木利亨

米ノ開キハ金銀貨ヨリ大ニ金銀貨ノ開キハ公債証書
 ヨリ大ナルヲ以テ其納税ヲ千分ノ五千分ノ二半千分ノ一ト定メシ
 ナリ勿論税ヲ納ムルハ定期ハ三月間ヲ標準トスルノ慣習ナリ金銀
 貨ハ直取引ノミニシテ差ノ極少キ時モアレトモ亦米ニ比シテ甚シ
 キ差違ヲ生スルコトモアルナリ茲ニ本年七月以後十月マテノ事ヲ
 見レハ米ハ最モ高低甚シク一石ニ付九十一錢ノ差ヲ生シタルコト
 アリ十月ノ如キハ四十三錢ノ差ヲ生シ即チ千分ノ四十三ニ當レリ
 其一日ノ相場ノ歩ミ中ニ於テ差異ノ多キ時ハ廿五錢少キ時ハ一錢

許ニ止マリ之ヲ一月ニ平均スレハ則チ七錢何厘トナルナリ又現米直取引ハ一圓ニ付一斗五升一斗三升五合許ニシテ五夕ヨリ低キ差ヲ生セシコトナク却テ一合以上三合以下ノ者多シトス故ニ一石十圓ノ相場ト假定シ其差ヲ五夕トスレハ乃チ千分ノ五トナルナリ定期ハ既ニ三月間ヲ目的トシ且一日五夕ツ、高低ヲ生ストセハ先ツ平均スル所前陳ノ如シ因テ之ヲ千分ノ五トセシナリ銀貨モ一圓ニ付少キハ二毛五毛多キハ二錢五厘ノ差アリシコトアリ然レトモ一日ノ歩ミ中ヨリ之ヲ見レハ大抵一圓ニ付二厘五毛三厘四厘ヲ常況トス併シ一月之ヲ平均スレハ五厘乃至七厘トナルコトアルモ畢竟是レ直取引ノモノナルカ故ニ歩合モ自ラ違ヘリ故ニ即チ千分ノ二半トセリ勿論一圓銀相場一圓五十錢ナル時ハ之ニ五厘ノ差ヲ付ス

レハ兩替屋ハ直ニ賣買スルヲ慣習トセリ今之折半スレハ即チ千分ノ二半トナルナリ而シテ其之ヲ折半スルハ從テ他ト歩合ヲ異ニスルニヨレリ夫ノ株式公債証書ノ運轉ニ至テハ太タ少ナク百圓ノ株モ今日ハ已ニ九十一圓内外トナレリ且ヤ株式等ハ素ト米金銀貨ト其性質ヲ異ニシ特ニ運轉ヲ主トスルモノニアラサルヲ以テ此ニ千分ノ一トセシナリ

○十一番 津田 眞道

本案ハ固ヨリ増稅ノ爲メナルヲ知レトモ此ニ内閣委員ニ質サント欲スル者アリ抑モ現今米商會所株式取引所等ヨリ収ムル所ノ總稅額ハ若干ナリヤ且本案ノ如クセハ更ニ若干ヲ増加スヘキヤ夫ノ大藏省ノ豫算表ニ就テ之ヲ看レハ現今ノ收稅額ハ一二萬圓ニ過サルカ如シ果シテ然ラハ之ヲ十倍スルモ十萬圓百倍スル

モ百萬圓ナルカ如シ如何

○番二番鈴木 外 豫算ナレハ元ヨリ確答シ難キモ試ミニ今年上半期全

國米商會所取引賣買ノ總額ヲ二倍シテ一年間ノ總額トシテ算スル
トキハ則チ一億千二百十九萬六千百十餘圓ナリ今之ニ双方ヨリ千
分ノ五宛即チ百分一ノ稅ヲ納メシムルトキハ凡ソ百十二萬千九百
六十一圓餘ヲ得ヘシ又金銀貨ハ橫濱大坂ノ二所ノミニシテ九億二
千六百二十萬餘圓ナリ之ヲ双方ヨリ千分ノ二半宛即チ千分ノ五ヲ
取稅セハ四百六十三萬餘圓トナルナリ諸株式公債証書ハ凡七千四
百四十八萬餘圓ニシテ之ヲ双方ヨリ千分ノ一ツ、納メシメハ即チ
十四萬八千九百六十餘圓ヲ得而シテ之ニ米商會所手数料ナル二十
四萬餘圓ノ四分一ノ稅即チ六萬餘圓ヲ合スルトキハ合計六百萬圓

内外ノ稅額ヲ收得スルノ理ナリ但シ米商會所ノ收稅ノ如キハ或ハ
百萬圓ニ減スルニ至ルヤ否ヲ保セサレモ想フニ今年ヨリ減スルコ
トハナカルヘシト信ス其金銀貨ノ取引ニ於テモ増減如何ハ豫知ス
ヘカラサレトモ大抵橫濱外國貿易ノ總額一年五百萬圓内外ナルヲ
見レハ是亦二十五萬圓ノ收稅ヲ得ヘシト思ヘリ蓋シ是等ハ皆將來
ノ稅額ニ係ルヲ以テ固ヨリ確答シ難シト雖モ其現行稅ニ比スレハ
則チ二百萬圓許ヲ増加スヘシトノ考案ヲ表示スルノミ

○十五番伊丹 重賢 本官モ本案ニ同意ヲ表ス其理由ハ各位既ニ詳陳セシ

ヲ以テ復タ贅セス特ニ一番ノ如キハ之ヲ奇々妙々トシテ贅嘆己マ
サレトモ本官ハ然ラス唯是レ財政上己ムヲ得サルノ課稅トシテ同
意ヲ表スルニ過サルノミ蓋シ米商會所ヲ置クノ利害如何ハ一大問

題ナルモ此案ノ如キハ然ラス即チ既定ノ該法ニ係ル定期賣買者ヨリ收税スルノ精神ニシテ此定期賣買モ亦社會ニ効用ナシトハ云カタカラシ此等ノ問題ハ本案ニ用ナキモ本官ハ米商會所ノ事業ニ於テ最モ不熟ナルヲ以テ此ニ内閣委員ニ質サント欲スルモノアリ惟フニ此收税ハ第一條ニ依レハ仲買人ヨリ納メシムル者ナルヘシ然ルニ明治八年米商會所ニ對スル第八十八號布告ニハ賣買手數料總金高十分ノ四ヲ收税スル事トナレリ蓋シ此ハ仲買人ニ課シ彼ハ會所ニ賦スルモノ、如キモ或ハ一物二重ノ税ヲ課スルノ看ナキ能ハス果シテ二重税ナリトセハ此ノ如キノ例モ亦他ニコレアリヤ否

○外番二番 鈴木亭 此ハ全ク仲買人ノ賣買金額上ヨリ納メシムルモノニシテ夫ノ米商會所ヨリ納ムル者トハ其性質ヲ異ニセリ蓋シ會所ヨ

リ納ムルモノハ仲買人ヨリ一旦會所ニ納メシモノヲ紹介スルモノナレトモ本案ハ賣買主ヨリ仲買人ノ手ヲ經テ納ムルノ間税ナレハ決シテ二重税ニアラサルナリ他例ハ之ヲ知ラス

○卅一番 鍋島 本官モ本案ニ異議ナシ蓋シ米商會所株式取引所ノ利害得失ニ就テ之ヲ云ハ、本官ハ其害ヲ見テ利アルヲ見ス就中不換紙幣發行ノ國ニ在テハ最モ金銀貨ノ株式取引ヲ不可トスレトモ此案ニ對シテハ賣買者ニ課税スルノ可否如何ニアレハ本官ハ乃チ課税スルヲ可ナリトスルナリ逐條ノ疑點ハ各位ノ質疑番外二番ノ説明ニヨリテ稍疑ヲ解キタレトモ尙ホ念ノ爲メ之ヲ質サント欲スルモノアリ即チ第三條ノ轉賣及買戻ノ税ヲ免除スル是ナリ例ヘハ甲賣リ乙買ヘハ双方共ニ納税シ此納税既了ノ品ヲ乙ヨリ丙ニ賣レハ

乙ハ轉買ナルヲ以テ丙獨リ納稅シ又丙ヨリ定期内ニ甲へ買戻セハ乃チ買戻ノ部ニ屬スルヤ且甲ヨリ乙ニ賣リ復タ乙ヨリ甲へ買戻セハ無論買戻ナルヘキモ其中間ニ丙アリ然ルモ猶ホ甲乙間ノ買戻ト同ク免稅ナルヤ

○番二番鈴木利亨

轉賣買戻ノ解ハ三十一番ノ問フ所ニ異ナラス

○十番柴原和

本官ハ本案ノ大躰ヲ賛成ス曾テ米商會所ノ事ニ付テハ

某議官ヨリ意見書ヲ提出シ本官モ之カ修正委員トナリテ調査ニ從事シ當時本官ハ該會所タルヤ道德上ヨリ論スレハ弊害アルモ亦社會ニ益ナキニアラス然レトモ苟モ道德ニ觸ル、ノ法律ナレハ大臣ノ署名ヲ以テ布告スルハ不可ナリ宜ク地方限り之ヲ許可スヘシト思考シタリシモ今日ヨリ之ヲ見レハ必ス布告セサルヘカラサルモ

ノトス蓋シ之ヲ禁スルモ禁スル能ハス却テ隱密賣買ヲナスノ實アルヲ以テ寧ロ公許スルニ如カスト爲スニ在ルナリ一番ハ本案ヲ賛シテ妙理ノ課稅法ナリト云ヘリ其レ然リ一方ニ納稅ノ苦アレハ一方ニ徵稅ノ樂アルハ當然ナリ然ルニ本案ハ双方共ニ其樂ヲ同ウセリ宜ナルカナ一番ノ贊嘆已マサルヤ且奢侈物ナル酒類煙草ニ課稅スルハ營業者ニ大苦痛アルニアラスシテ却テ間接ノ需用者ニ苦痛アレトモ本案仲買人ノ課稅ハ固ヨリ其憂アルコトナシ願クハ巨額ヲ收メテ軍實ヲ張ルノ用ニ供シ且國庫欠乏ヲ充タシ而シテ些細ノ諸稅ヲ顧ミサランコトヲ聞ク所ニヨレハ本年米商會所ノ取引賣買額ハ一億餘萬圓金銀貨ハ九億萬圓ニシテ凡ソ六百萬圓ヲ收稅スヘキ理ナリ此理ニ由レハ明年ハ必ス二百萬圓ヲ收ムヘシト是レ最下

限ヲ目的トシタル想像上ノ豫算ニシテ本官ハ即チ六百萬圓ヲ超ル
 モ決テ減スルコトナカルヘシト信ス苟モ年々六百萬圓ヲ得八年々
 一百万圓ノ軍艦六隻ヲ造リ外國對峙ノ良媒ヲナスモノトス第二條
 千分ノ一第四條千分ノ二半ニ對シ番外二番ノ答辨ハ未タ以テ明確
 ナリトセス故ニ第二讀會ニ至ラハ本官ハ千分ノ一ヲ千分ノ三トナ
 シ千分ノ二半ヲ千分ノ五ト修正セント欲ス今唯本案ノ美ナルヲ贊
 成スルノミ

○廿一番 辨作 詳

本官ハ本案ニ同意ヲ表シ并セテ疑議ヲ質セシニ詳明
 ナル答辨ヲ得タリ今ヤ第一讀會將ニ終ラントスルニ際シ尙ホ一言
 質サント欲スルモノアリ蓋シ第三布告案ハ株式取引所稅額ノ事ナ
 リ而シテ現行法即チ十一年第三十號布告ニ照セハ稅率ハ同ク十分

ノ一ナレトモ「其他現收セル」ノ六字ヲ削ラハ其稅額ノ減少スルヤ
 知ルヘキナリ知ラス其減額ハ若干ノ豫算ナリヤ

○番二番 鈴木 利亨

第三布告案中「其他現收セル」ノ六字ヲ削リシハ本年
 第二十六號布告ヲ以テ米商會所條例ヲ改正シテ既ニ該條例中其他
 現收セルノ文字ヲ削除シ從テ株式取引所ト收稅法ヲ異ニスルヲ以
 テ同ク改正スヘキノ目的ナリシニ在再今日ニ及ヒ幸ニ兩會所仲買
 人納稅規則ヲ制定スルニ逢ヒ此ニ至リテ之ヲ正スモノナリ蓋シ此
 文字ナキトキハ會所ハ其益ヲ得ルナリ例ヘハ東京大坂橫濱ノ三所
 ニ於テ今年上半期會所ニ現收セシ總額ヲ以テ其増減ヲ算スルニ東
 京ハ賣買手數料二萬千百六十五圓餘ナルモ雜收入即チ公債証書ノ
 利足八千九百餘圓預ケ金六千餘圓秩祿公債證書等ノ抽籤益金等ヲ

合計スレハ大概一萬五千餘圓ノ現收入タリ而シテ此一萬五千餘圓ハ其他現收セルノ文字中ニ含ム者ニシテ此文字ヲ削レハ其納稅ハ賣買手數料二萬千百六十五圓ノ十分一即チ二千百十六圓餘ニ止マリ雜收入額一萬五千餘圓ノ十分一即チ一千五百圓餘ノ納稅ヲ減スルモノナリ又大坂ハ此比例ヲ以テセハ一千七百餘圓ヲ減シ横濱ハ一千五百四十八圓ヲ減ス是レ今年上半期ノ實況ニ由ルモノナリ故ニ此減稅ハ大約前陳スル所ニ二倍スト見レハ恐ラク大差ナカルヘシト信ス

○九番 渡邊 洪基

本官ハ本案ヲ發スレハ收稅六百萬圓ヲ得テ海陸軍擴張ノ援助ヲナスヘシトシテ之ヲ可トスルニアラス唯投機商等此重稅ニ堪ヘス自然ニ跡ヲ藏ムヘシトシテ之ヲ可トスルナリ蓋シ六百萬

圓ノ稅ヲ徵スルニ之ヲ金銀貨ヲ以テスルモノト假定セハ現在紙幣ノ價格ニ準セハ金銀貨凡四百六十萬圓ニ相當スルナリ而シテ横濱ニ於ケル其金銀貨ノ現在高ハ漸ク三百萬圓内外ナルヘキヲ以テ即チ其三百萬圓ヲ悉ク納稅ニ充テシムルモ猶ホ足ラサルノ實況ヲ來シ此ニ於テカ投機商ハ跡ヲ絶ツニ至ルヤ必セリ故ニ本官ハ本案ヲ可トシ一修正說ヲモ蓄ヘサルナリ

○議長 質疑盡キタルヲ以テ茲ニ第一讀會ヲ閉ツ而シテ本案ハ特ニ大臣ヨリ至急ヲ要スルノ照會アルヲ以テ例規ニ拘ハラズ明日九時三十分ヨリ第二讀會ヲ開クヘシ

○外一番 安場 保和

大臣ヨリ特ニ照會アリタルヲ以テ例規ニ拘ハラズ明日第二讀會ヲ開クノ宣告アルハ聞ヲ得タレトモ議場ノ景況ヲ見ル

ニ各位ノ説小異同アリトスルモ要スルニ之ヲ否トスルノ論ヲ聞カ
 ス質間モ亦詳密ニ涉リ修正説ノ端緒ヲ開キシハ獨リ十番議官ノミ
 ナルカ如シ是ニ由テ之ヲ觀レハ肯テ熟考ノ時間ヲ與ヘラレサルモ
 今日午後直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ム特ニ年内餘日ナク要
 急切迫ナルヲ以テ議長ノ宣告アルニ拘ハラヌ請求スルコト爾リ
 ○議長 既ニ宣告ヲナシタレトモ更ニ内閣委員ヨリ直ニ第二讀會ヲ
 開クヘキ特別ノ請求アリ之ニ同意者ハ起立スヘシ
 起立者十人
 ○議長 少數ナルヲ以テ第二讀會ハ明日例刻ヨリ開カントス散會ス
 午前第十一時五十分閉場

元老院會議筆記明治十五年十二月十五日

禁傍聽

○第三百六十一號議案

米商會所并株式取引所仲買人納稅規則制定ノ儀明治九年第一百五號布告中改正ノ儀

明治十一年第三十號布告中改正ノ儀 第二及第三讀會

議長 佐野 常民

出席議官

- 一番 神田 孝平
- 三番 長岡 護美
- 四番 岩下 方平
- 六番 林 友幸
- 九番 渡邊 洪基
- 十番 柴原 和

- 十一番 津田 眞道
- 十三番 鍋島 直彬
- 十四番 河瀬 眞孝
- 十五番 伊丹 重賢
- 十六番 大久保一翁
- 十九番 楠本 正隆
- 二十番 海江田信義
- 廿一番 箕作 麟祥
- 廿二番 榎村 正直
- 廿五番 津田 出
- 廿六番 關口 隆吉

- 廿七番 黒田 清綱
 - 廿九番 渡邊 清
 - 三十番 野村 素介
 - 卅一番 鍋島 幹
 - 卅二番 河田 景與
 - 卅五番 本田 親雄
 - 卅六番 東久世通禧
- 議長 第三百六十一號議案第二讀會ヲ開ク
- 午前第十時廿分開場
- 内閣委員 一番 参事院議官安場 保和
 参事院員外議官補鈴木 利亨

書記官 森山茂

朗讀

布告案

米商會所并株式取引所仲買人納稅規則左ノ通制定シ 年 月 日
ヨリ施行ス

○議長 本案ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者廿二人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

米商會所株式取引所仲買人納稅規則

第一條 米商會所仲買人定期賣買ヲ爲ストキハ賣買双方ヨリ各約定代金高千分ノ五ヲ納稅スヘシ

○議長 本條ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者廿二人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第二條 株式取引所株式仲買人公債證書并諸株式ノ定期賣買ヲ爲ストキハ賣買双方ヨリ各約定代金高千分ノ一ヲ納稅スヘシ

○議長 本條ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者廿三人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第三條 第一條第二條ノ場合ニ於テ定期内ニ轉賣又ハ買戻ヲ爲ス

者ハ其轉賣又ハ買戻ニ係ル稅ヲ免除ス

○議長 本條ニ同意者ハ起立スヘシ

○起立者廿一人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ決ス

書記官 森山 茂 朗讀

第四條 株式取引所金銀貨仲買人金銀貨ノ取引ヲ爲ストキハ賣買

双方ヨリ各其取引代金高千分ノ二半ヲ納稅スヘシ

○十番 柴原 和 本官ハ第一讀會ニ方リ粗ホ端緒ヲ開キシ如ク本條千分

ノ二半ヲ千分ノ三ト修正セント欲ス抑モ第一讀會ニ於テ内閣委員

ノ説明スル所ニヨレハ本年中米商株式兩會所ノ賣買高第一條ハ一

億餘萬圓第二條ハ七千四百餘圓第四條ハ九億餘萬圓ナレハ概算六

百萬圓ノ收稅ヲ得ヘシ然レトモ本年ハ非常ニ賣買烈シカリシヲ以

テ他年ヲ概スヘキニアラサレハ先ツ二百萬圓ヲ徵收スルノ目的ナ

リト云ヘリ是ニ由テ之ヲ觀レハ取引旺盛ニ赴カハ金銀貨ノ如キモ

相場ノ低昂ニ由リ九億ハ更ニ一倍シテ十億ニ増スヲ知ルヘカラス

今假リニ六百萬圓ハ本年ニ至テ増減スト豫算シ且第一第二條ヲ措

テ問ハス唯第四條ノミヲ舉テ論スルモ二半ニ半ヲ加フルモノトセ

ハ双方ヲ合シ一割ヲ増スノ理ナリ然レハ則チ一億ヨリ十萬圓九億

ヨリ九十萬圓ヲ得假令取引減シテ五億トナルニ至ルモ猶ホ五十萬

圓ヲ得ヘシ既ニ一番モ説ク如ク本案ノ稅法ハ實ニ奇々妙々ニシテ

之ヲ收ムル者益アリ之ヲ納ムル者損ナク加フルニ彼ノ酒類煙草ノ

如ク間接ニ一般人民ヲ困シムルモノニアラス唯其影響アルハ仲買

人ナルカ如キモ此仲買人モ亦之ヲ納メテ損ナキ者ナリ實ニ妙税法ト云ハサルヘカラス蓋シ本官輩ハ曾テ増稅主義ノ議案ニ對シテハ毎ニ頭ヲ疾マシメタレトモ本案ハ之ニ反シテ肩ヲ開テ議到スルナリ某議官ハ本案ヲ發シテ得ル所ノ重稅ヲ以テ陸海軍實ヲ張ルノ用ニ供スルヲ悅ンテ本案ヲ可トスルニアラス唯此重稅ニ堪スシテ道德ニ反クノ投機商等ハ其跡ヲ藏ムルニ至ルヲ喜フナリト云ヘリ既ニ千分ノ二半ヲ稅シテ投機商ノ跡ヲ藏ムル如クンハ増シテ千分ノ三トセハ益其跡ヲ絶ツヘキナリ此ノ如クンハ設令政府收稅ノ目的ハ之ヲ達セサルモ道德ヲ保持スルニ至テハ實ニ國家ノ幸ト云フヘキナリ蓋シ此僅々タル増稅ニシテ投機商跡ヲ絶ツ如クンハ實ニ至幸ニ堪ヘサルモ決シテ然ル能ハサルナリ聞ク賭博ヲ爲ス者ハ稅ニ

類スル寺ト唱フルモノアリテ其寺頗ル巨額ナリ例ヘハ千圓ノ賭ヲナスニハ二百圓ノ寺ヲ納ムト云既ニ此ノ如キ巨額ノ寺ヲ納ムルモ猶ホ賭博止マサルノ實例アルヲ以テセハ良シヤ本案千分ノ三ヲ納メシムルモ其實彼レニ比シテ輕稅ナレハ之カ爲メニ投機商ノ止ムヘキ理ハナカルヘシ今此案ハ政府其寺ヲ收ムルニ類スル者ナレハ千分ノ三八更ニ増シテ千分ノ五トスルモ可ナラン且道義上素ヨリ投機商ヲ見サランコトヲ欲スルニアレハ此ノ如ク徵收ニ便ニシテ而シテ其重稅ニ堪ヘサラシメ以テ匪徒ヲシテ跡ヲ絶ツニ至ラシムルハ政略ノ宜キヲ得タル者ナリ切ニ望ム本年賣買ノ景況ニ基キ千分ノ三トナシ九十萬圓ヲ收稅シ而シテ他ノ輕々タル五七萬圓ノ稅ヲ徵シテ民情ニ戻ルカ如キモノヲ廢止アランコトヲ

○十四番 河瀬 眞孝 賛成

○議長 二十番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○廿六番 關口 隆吉 問題ハ不同意ナリ第一讀會ニ於テ内閣委員ノ詳細陳

述スル所ニヨレハ本案ハ二百萬圓ヲ得ルノ豫算ナリト本官意フニ

本案ヲ以テ二百萬圓ヲ徵收スルハ太タ難カラシ然レトモ理事者事

ニ當リテ精密ニ調査シタルノ豫算ナレハ亦疑フヘキニモアラサル

ヘシ既ニ陸海軍實ヲ張ル爲メニ酒類ノ稅率ヲ改メ且本案ヲ以テ若

千萬圓ヲ得レハ足レリトノ豫算ヨリシテ此ニ至リシナラン然ルニ

徵スルヲ得ヘキ限リハ之ヲ徵スヘシト云フハ不可ナラスヤ特ニ徵

シ易キカ爲メト云テ多ク徵スルハ事ノ宜キヲ得タルモノニアラス

其何稅ヲ問ハズ成ヘク輕キヲ可トスルナリ多ク徵スレハ損アリテ

又弊アルハ當然ナリトス今ヤ本案ヲ發セハ即チ投機者流ノ減却ス
ルハ自然ノ理勢ナルニ更ニ千分ノ三ニ増スカ如キハ或ハ密賣買ノ
一方ニ傾キ取締上ニ於テ大ナル不便ヲ生セン故ニ本官ハ本案ノ如
ク千分ノ五千分ノ一千分ノ二半トアルハ最モ其權衡ヲ得タリトス
ルナリ本官ハ千分ノ二半トアルハ最モ其權衡ヲ得タリトス

○十一番 津田 眞道 十番ヲ賛成ス當然ノ稅則ナレハ廿六番所論ノ如クナ

レトモ本案ハ變則中ノ變則ニシテ千分ノ五トナスモ既ニ可ナルモ

ノナリ今若シ營業者千分ノ三ノ納稅ニ苦シミ金銀貨ノ賣買取引即

チ所謂大賭博止テ正業ニ歸シ之カ爲メニ國庫ニ影響ヲ及ホシ陸海

軍實ヲ張ルノ妨ケヲナスニ至ルモ本官ハ實ニ之ヲ欣喜ノ至リトナ

スナリ蓋シ竊盜盡キサレハ悉ク之ヲ殺スモ可ナルト一般現問題ハ

即チ本官ノ素論ニ符合スルヲ以テ之ヲ賛成ス

○廿九番 渡邊清

原來本營業ノ正不正ニ對シテハ種々ノ論アルヘシト雖モ本案ハ其正不正ニ關係スルコトナク唯増稅ノ旨趣ニ過サルヲ以テ彼此ノ權衡ヲ得タリトセハ他ニ待ツコトナキナリ故ニ本官ハ第一讀會ニ於テ千分ノ五千分ノ一千分ノ二半ト定メタル稅率ノ由テ超ル所ノ實況ヲ內閣委員ニ質シ其說明ヲ聞テ始メテ安心セシナリ當初本官ハ千分ノ二半ハ或ハ過分ニハアラサル乎ト考ヘリ聞ク横濱ノ商況ハ一月僅ニ百五六十萬弗内外ナリト論者ハ金銀貨賣買取引ハ猶ホ進ムコトアルヘシト辨明スレトモ本官ハ然ラス此ノ如キハ五六年間ニ於テ其商況ノ進歩ヲ見ル能ハサルヘシトス特ニ大藏卿モ意ヲ金銀貨ト紙幣トノ差ニ注キ其平均ヲ企圖スルノ今日ナ

レハ千分ノ三トナサハ或ハ二三十萬ニ減却スルヲ知ラサルナリ到底修正ハ相當ヲ得サルヘシ事若シ減却スルニ至レハ忽チ政府ノ目的ヲ失シ密賣買ノ弊ヲ生シ亦如何トモスル能ハサラン本官ハ米商ノ千分ノ五スラ尙ホ重シトセリ況ヤ本條ヲ千分ノ三トナスノ不可ナルニ於テヲ要スルニ之ヲ千分ノ三トナスモ投機者ハ減スルコトナク唯密賣買ノ弊ヲ生スルアルヘキノミ

○卅一番 鍋島幹

現問題ヲ賛成ス蓋シ本案ヲ要スルハ増稅主義ニ外ナラサレハ十番ノ云フ如ク徵スルヲ得ヘキモノニ就テ之ヲ徵スヘシトス論者或ハ重徵セサルノ原則ヲ主張シ重徵スレハ營業者ヲ苦ムト云フモ是レ他ノ場合ニ在テハ當然ノ言ナレトモ本案ニ對シテハ不當ナルノミナラス之ヲ徵セサレハ國家必用ノ陸海軍備ヲ整頓ス

ル能ハサルナリ且ヤ米商會所等ノ如キハ社會ニ有害ナルハ論ヲ待
 タサレトモ現ニ之ヲ禁止スルコト能ハサルノ實アル以上ハ寧ロ重
 税ヲ課シテ社會ノ有害ヲ償ヒ他ノ有用ヲ起スニ如カストス是レ此
 徴スルヲ得ヘキモノニ徴シテ他ノ必用ニ充ルヲ得策トナス所以ナ
 リ論者ハ千分ノ三トスレハ營業者減少シテ政府徵稅ノ目的ヲ失フ
 ヘシト辨明スレトモ千分ノ五千分ノ一千分ノ二半ハ元ト取引上ノ
 開キヨリ生スル者ニシテ敢テ顧慮ヲ要セサルナリ且株式取引所ハ
 證據金ヲ減セサレトモ米商會所ハ既ニ之ヲ減シテ五ト二半ノ比例
 ヲ出セリ故ニ今二半ヲ増シテ三トスレハ千分ノ一ヲ増スノミ反對
 論者ハ千分ノ三トナセハ營業者ハ減少スヘシト云テ喋ヤスルモ未
 タ其實ヲ舉ケ明示スルニアラス且横濱ノ商況ハ眞誠ナル輸出商業

ニシテ内外商ノ實力如何ニヨリテ盛衰アル者ナレハ本稅千分ノ二
 半ヲ千分ノ三ニ増スモ決シテ彼レニ影響ヲ與フルコトナク又僅々
 五分ヲ増シタリトテ忽チ營業者減少スルカ如キ憂ナキナリ米及金
 銀貨公債證書ノ毎日ノ開キヲ聞クニ米ハ尤モ多ク金銀貨之ニ亞キ
 公債證書ハ尤モ少ナリト而シテ其實額ヲ問フニ米多クシテ金銀貨
 少ナシト云既ニ實額少クシテ而シテ彼カ如ク取引ノ大ナルヲ以テ
 見レハ即チ千分ノ三トナスモ敢テ不權衡ナキヲ知ルヘキナリ

○九番 渡邊 洪基

本官ハ千分ノ三ト修正スルモ敢テ大變動ヲ來タスヘシ
 トハ考ヘサレトモ投機心ヲ抑フルニハ千分ノ二半ニテ充分ナリト
 信ス其理由タル今日此ノ如ク取引上驚クヘキ巨額ナルノ原因ハ到
 底金銀貨ト紙幣トノ價格ノ差ニアルナリ蓋シ金銀貨ハ輸出入ノ稅

ヲ納メ且輸出入ノ平均ヲ補フ者ナレハ其實貿易上ニ於テ金銀貨ニ相場アルヘカラサルノ理ナリ此間ニ於テ双方ヨリ千分ノ二半ヲ納メハ即チ日ニ五厘ノ差トナルヲ以テ自然其差ヨリシテ輸出入ノ不平均ヲ起スヘシ而シテ此不平均ハ素ト投機商ノ然ラシムルニアラスシテ即チ經濟ノ然ラシムル所ナリ眞ニ輸出入ニ平均ヲ得經濟モ亦宜ヲ保チ人民悉ク正業ニ歸スルニ至ラハ今日ノ如キ金銀貨賣買取引ヲナスモノニアラサレハ重稅スルモ輕稅スルモ終ニ其差ヲ見サルヘキナリ今日ノ實況ヨリ看レハ之レニ千分ノ二半ヲ納メシメ其他手數料アル以上ハ甚シキ投機心ヲ抑フルニハ充分ナリトス然ルニ仍ホ投機商止マスシテ更ニ重稅ヲ課セサルヘカラサルカ如キ事アルニ至ラハ實ニ嘆息ニ堪ヘサル所ナリ何トナレハ經濟宜ヲ失

フニアラサレハ此ノ如キニ至ラサルヲ以テナリ又道德上ヨリ論スルモ千分ノ二半ニテ充分ナリ但シ米ノ賣買相場ハ巨額ナルカ如キモ大凡全國ノ現米三千萬石ト假定シ其内一千萬石ニ止マルモノナレハ之ヲ昔日ニ比スレハ實ニ衰ヘタリト云ヘシ是レ恐ヲク近來運輸ノ便ヲ得タルニ由テナラン今日猶ホ米相場ノ在ルアルハ即チ運輸ノ便未タ周カラサルニヨランカ故ニ他日運輸ノ便ヲ得ハ必ス其跡ヲ見サルヘシト信ス株式取引所ノ如キハ敢テ社會ニ大害アルモノニモアラス但經濟上ノ變動ヨリ國家ノ盛衰ニ伴フ者タルニ過サルノミ要スルニ原案既ニ現況ニ適實ナルニ更ニ之ヲ増スハ太々好マサル所トス况ヤ原案ト雖モ據ル所ナキノ稅率ナルニ更ニ據ル所ナキノ稅率ヲ加フルニ於テヲヤ

○廿一番 笑作
麟祥

本官モ現問題ニ不同意ナリ從來増税ノ法案ヲ議スルニ方テヤ本院ノ議ハ毎ニ必ス之ヲ減スルモ決テ之ヲ増スコトナシ今發論者ノ平生ノ主義ニ拘ハラズ増税說ヲ主張アルハ惟フニ此ノ如キ營業ハ原來道德ニ悖ルモノナルニヨリ之カ禁止税ヲ課セントスルモノ、如シ果シテ然ラハ更ニ苛酷ノ税ヲ課スルニアラサレハ其目的ヲ達スル能ハサルヘシ然レトモ既ニ禁止セサルヘカラサル惡業ナリト決セハ税ヲ徵シテ之ヲ保護スルヲ要セス斷然禁止シテ可ナルノミ蓋シ本案ヲ發スルノ主義ハ內閣委員モ辨明スル如ク所謂道德如何ニ論ナク唯歲入ニ不足ナルヲ以テ他ノ必需品ニ税センヨリハ寧ロ此營業者ニ税スヘシト云フニアルナリ勿論發議者モ國庫ヲ富スノ主意ニ出ルト雖モ或ハ恐ル反對ノ結果ヲ生センコトヲ

看ヨ現ニ米商會所ノ証據金十分ノ二ヲ十分ノ一ト減セシハ密賣買ヲ恐ル、ノ致ス所ニアラスヤ證據金ニシテ既ニ彼ノ如シ今若シ營業税ヲ重クセハ脱税ヲ圖リ密賣買ヲナシ彼ニ出テ此ニ入ルノ姿トナルハ當然ナリ彼ノ利息制限法ハ嚴重ナルヨリシテ實際ニ行ハレズ之ヲ實行セントセハ唯借主ノ害トナルノミナリ故ニ若シ之ヲ十分ノ三トセハ脱税ヲ圖ルノ徒多クシテ歲入ハ却テ減スルヲ知ルヘカラス蓋シ海關稅等之ヲ重クスレハ脱税ノ爲メニ其收入ノ減スルヲ以テ徵スヘキナリ抑モ我人民ノ投機心ハ今日俄ニ止ムヘキニアラス故ニ此ニ抑フレハ彼ニ揚ルヲ以テ政府モ亦已ヲ得ス投機賣買ノ取引ヲ廢止スル能ハサルナリ苟クモ發議者ニシテ若シ禁止税ノ意ナリトセハ千分ノ三ハ未タ以テ目的ヲ達スル能ハス又歲入ヲ増

スノ意ナランニハ脱税ノ爲メニ却テ政府ノ損トナルヘシ蓋シ這回
 證據金十分ノ二ヲ十分ノ一ト改メシモ犯人ノ多キハ證據金ノ巨額
 ニヨルモノ多キヲ以テ然ルナリ要スルニ理事者ニ於テ本税ヲ千分
 ノ五千分ノ一千分ノ二半トセシハ其算則ノ由テ出ル所ハ則チ賣買
 上ノ開キニ基スト云フ以上ハ之ヲ正確ナリト信セサルヲ得ス而シ
 テ發議者ノ述ル所ハ唯一割ヲ増スト云フノミニシテ其正鵠トスル
 所ナカルヘシ況ヤ政府ハ二百萬圓ヲ得ハ足レリトスルニ更ニ之ヲ
 増シテ政府要用外ノ金額ヲ徵スルハ無用ナルニ於テヲヤ
 ○一番^{神田孝平} 本官モ原案ヲ可トス發議者贊成者ノ言ヲ聞クニ大約相
 場ハ博奕ナレハ税トシテ徵スルヲ得ヘキ上ハ充分之ヲ徵スヘシト
 ノ旨ナレトモ若シ然ル如クハ獨リ本條ニ限ルニアラス米ノ賣買

取引モ千分ノ六七ト爲シ公債證書ノ賣買取引モ亦千分ノ二三トナ
 サ、ルヘカラス然ルニ論者ノ之ニ及ハサルハ千分ノ五千分ノ一ヲ
 適度ト認メシニアラン乎之ヲ適度ト認メハ徵スルヲ得ヘキハ之ヲ
 徵スヘシト云フノ旨ニ差ハン本官ハ苟モ米ニ五公債證書ニ一トセ
 ハ金銀貨ノ二半モ亦同カルヘキヲ信スルナリ第一讀會ニ本官本案
 ヲ評シテ妙ヤナリト云ヒシハ其精神ヲ最モ米ニ注キタルナリ蓋シ
 米商會所ト株式取引所トハ其區別ヲ立テサルヘカラス即チ米ハ証
 據金二百圓ヲ減シテ百圓トナシ之ヲ税スルニ五圓ヲ以テスルトキ
 ハ其税金ハ定期三月内ニ百圓金ヲ運轉スルノ利足ト見做シ納ムル
 者ニ於テハ損得ナク而シテ政府ハ暗ニ税ヲ得ルヲ以テ妙法ナリト
 稱セシナリ株式ノ如キハ然ラス即チ證據金ヲ減スルコトナキニ新

ニ千分ノ二半ヲ課セラル、者ナレハ其之ヲ納ムルノ徒ハ甚タ苦痛ノ感アルナルヘシ故ニ金銀貨ノ賣買ニ限リテハ新規ナル課税ノ上ニ更ニ重税ヲ課スヘキニアラス又論者ノ言ノ如ク果シテ重税ヲ實際課セサルヲ得サルヤ否ハ未タ知ラサレトモ既ニ其証據金ヲ見レハ米ハ從來一百圓ナリシヲ現行法増シテ二百圓トナシ今復タ減シテ百圓トナセリ株式ハ然ラス乃チ千圓ノ取引ヲナスニ五十圓ノ証據金ヲ以テ約束ヲ締結スル者ナリ且其取引タル米ニ比スレハ稍着實ナルカ故ニ證據金モ亦米ノ半額ナリ證據金既ニ半額ナレハ其税モ亦二半ヲ當レリトス且ヤ此算則ハ賣買ノ差ヨリ割出シタルモノナルトキハ定メテ失當ナキヲ信スルナリ

○三番 長岡護美

本官八十番ノ精神ハ之ヲ好スレトモ問題ニハ同意スル

コト能ハス政府既ニ米商會所株式取引所ノ設立ヲ公許セシ以上ハ不當ノ税ヲ課スレハ政府モ亦自ラ博奕ヲナスノ姿トナルナリ本官ハ實際ノ事ヲ知ラサレトモ現問題ハ一般税則ノ權衡ヲ失フノミナラス不正直ノ營業ナルヲ以テ重税ヲ課スヘシト云フハ不可ノ甚シキモノトス何トナレハ政府不正ヲ助ケテ不正ヲ誘導シ以テ不正ノ税金ヲ收ムルノ姿トナレハナリ若シ禁止税ニ出テハ論題自カラ特別ナレトモ既ニ公許シテ會所ヲ設立スル以上ハ已ムヘキノミ

○十番 柴原和

本官ノ修正說ニ對シ頻ニ駁撃ノ論アルニ會ヘリ而シテ其論旨ヲ聞クニ曰ク問題ハ徵税ノ原則ニ悖ルナリ投機商減シテ政府ノ目的ヲ達セサルナリ他ノ税法ト權衡ヲ失フナリ密賣ヲ促スナリト抑モ本案收税ノ如キハ素ヨリ税法ノ原則ヲ以テ論スヘキモノ

ニアラスシテ彼ノ賣藥營業稅等ト其趣ヲ異ニスル者ナレハ收稅ノ原則ニ違フトノ駁論ハ決シテ問題ヲ傷クルニ足ラストス且論者ハ原案ノ千分ノ二半ハ他ト權衡ヲ保持スル者ナリト云ヘリ然ルニ内閣委員モ各種賣買ノ差ヲ辨明スルハ明了ナレトモ其千分ノ五トシ千分ノ二半トスルニ至テハ則チ想像タルヲ免カレス蓋シ第一條ハ直取引ニアラスシテ第四條ハ直取引ナリ而シテ此直取引ト彼ノ定期賣買トハ同一ニスヘキニアラス故ニ三トスルモ五トスルモ其權衡ヲ論スルニ至テハ兩論共ニ其當ヲ得タルヤ否ヲ保ツコト能ハサルモノトス又禁止稅ノ點ヨリ立論スレハ十分ノ一ヲ納メシムルモ可ナレトモ本官ハ唯道義上ヨリハ之ヲ禁止セント欲スルノミニシテ法律上ニ於テハ之ヲ禁止スルノ意ナシ蓋シ此事ニ關シテハ本官

曾テ其意見書ノ修正委員トナリテ議長ニ報告セシ時モ云ヘルコトアリ則チ其意タル之ヲ禁スレハ密賣盛ニ起リ終ニ社會ヲ害スルコト恰モ決堤ノ良田ヲ崩潰スルニ均シカラシ故ニ之ヲ禁止セス且布告ヲモ用ヒスシテ唯地方官ニ委任スヘキヲ以テセリ其權衡論ニ至テハ孰レカ可ナルヲ知ラサレトモ元來米金ノ取引上ニ於テハ彼ハ一億此ハ九億ノ差異アリ而シテ眞ニ正路ヲ以テ爲ス所ノ金銀貨ノ取引ハ僅ニ二千五百萬圓内外ナリト聞ケリ然ルニ其取引ノ此ノ如キ巨額ニ達スル如キハ實ニ博奕ナルカ爲メナリ豈紙幣ヲ以テ九億萬ノ金銀貨幣ヲ買フヲ得ヘケンヤ然ラハ則チ之ヲ博奕ト云フモ決テ誣ルニハアラサルヘシ蓋シ投機商ナルモノハ其百人中適マ一人ノ僥倖ヲ得テ產ヲ起スモノアレハ他ノ九十九人ハ之ヲ羨ミ忽チ投

機心ヲ起シ之カ爲メニ廢没スルヲ知ラスシテ競争ノ極此九億萬圓ノ巨額ニ達セルモノナリ是ニ由テ之ヲ觀レハ良シヤ之ヲ千分ノ三トナスモ決シテ其投機心ヲ抑フルノ理ナキナリ苟クモ兩會所タル其賣買ノ跡ヲ見レハ則チ賭博ニ類似スル者ナレトモ稍事柄ノ違フ所アルニヨリ政府ハ之ヲ公許セリ然レトモ其性質ヲ論スレハ終ニ賭博タルヲ免カルヘカラス故ニ本案ノ收稅タル仲買人等ヨリ賭博ノ寺ヲ取ムルニ均シキモノナリ要スルニ賭博盡キサルヲ見レハ相場ノ息マサルヲ徵スルニ足り増稅ノ爲メニ收入減却スルノ理ハ萬ナキモノトス某議官ハ我邦ノ商況ハ向來五六年ノ間ハ旺盛ニ赴クコトナシト論スレトモ本官ハ然ルヲ保スル能ハス又第四條ハ株式取引所ニテ賣買ヲナス者ニシテ若シ脫稅ヲ圖ルモノアラハ第十條

ヲ以テ之ヲ罰スヘシ然レトモ反對論者ニシテ若シ今之ヲ千分ノ三トナセハ第四條中ノ賣買者ハ脫稅スルニ至ルヘシト云ハ、或ハ聞クヲ得ヘキモ其土藏中ニ潛テ相場ヲナスカ如キ徒ハ乃チ彼ノ相撲ヲ見テ其勝敗ヲ賭スルモノ等ト一般今千分ノ二半ヲ千分ノ三ニ増スニ至ルモ其増減ハ畢竟此等ノ如何ニ關係ナキコトナリ又論者ハ理事者ノ定メシ稅率ナレハ正確ナリト云ヘリ果シテ然ラハ何ノ爲メニ酒稅等ノ如キモ其理事者ノ定メシ稅率ニ沈默甘從セスシテ喋々論到セシヤ是レ元老院ハ増稅ノ說ヲ發スヘカラストノ章程アラサル限りハ増スヘキハ之ヲ増シ減スヘキハ之ヲ減スルモノニシテ亦何ノ妨ケカアラン本官ハ從來稅法ヲ議スルニ方リ未タ増稅論ヲ唱ヘシコトナキモ此第四條ノ如キハ必ス増スヘキノ理由アルヲ以

○テ之ヲ増サントスルナリ抑モ本官ノ意タル今本案ノ二半ヲ三トナシ一年九十萬圓宛ヲ増徴スルヲ得ハ大ニ政略ヲ助クル所アラン而シテ其徴セサルモ可ナル正業ニ對シテハ成ヘク徴稅ナカラシコトヲ切望スルニアルナリ

○議長 十番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者五人

○議長 少數ナルヲ以テ十番ノ修正ハ消滅ス即チ本條ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者十六人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ決ス
書記官 森山 朗讀

第五條 賣買ヲ解約スルコトアルモ其税金ハ之ヲ還付セス

○議長 本條ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者廿三人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ決ス
書記官 森山 朗讀

第六條 税金ハ賣買双方ヨリ會所又ハ取引所ニ納ム可シ

○廿二番 棋村 正直 第三條ニ轉賣買戻稅免除ノコトアリ第四條ニ納稅ハ賣買双方ヨリスルノ明文アルヲ以テ本條中賣買双方ヨリノ六字ヲ削ラント欲ス

○九番 渡邊 洪基 賛成

○議長 廿二番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○議長 廿二番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ

○議長 起立者十三人

○議長 多數ナルヲ以テ廿二番ノ修正ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第七條 會所及取引所ハ仲買人ヨリ納メタル税金ヲ每一箇月取纏

メ翌月十日限り地方廳ニ上納スヘシ

○議長 本條ニ同意者ハ起立スヘシ

○議長 起立者廿三人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第八條 税金徴收ノ規則ハ大藏卿ノ達ヲ以テ之ヲ定ム可シ

○廿二番 榎村正直 本案既ニ納税規則ナリ然ルニ大藏卿ヨリ更ニ税金徴

收規則ノ達書ヲ出ストアルハ頗ル不穩ナルヲ以テ徴收規則ノ字ヲ

方法ト修正セント欲ス然レニ本案ノ成ルニハ特許官ニシテ

○廿二番 箕作麟祥 賛成

○議長 廿一番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○十五番 伊丹重賢 賛成

○議長 廿二番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ

○議長 起立者十七人

○議長 多數ナルヲ以テ廿二番ノ修正ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第九條 大藏卿ハ地方廳ニ委任シ又ハ隨時官吏ヲ派出シ納税ノ精

算ヲ検査セシムヘシ

○議長 本條ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者廿二人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ決ス

書記官 森山 朗讀

第十條 税金ヲ納メスシテ賣買取引スル者ハ脱税高三倍ノ罰金ニ

處シ仲買人ノ認許ヲ差止ムヘシ

○廿二番 榎村 正直 仲買人ノ認許ヲ差止ムヘシトアレトモ元來此認許權

アル者ハ農商務卿ナリ然ルニ本案ノ如クシハ裁判官ニシテ農商務卿ニ對シテ認許スヘカラストノ意トナルヲ以テ之ヲ修正セサルヘカラスト惟フニ原案ノ意タル脱税ノ爲メ罰ニ處セラル、トキハ其認

許セラレタルノ効ハ消滅スト云フニアルヘシ因テ之ヲ修正シテ云々罰金ニ處ス但此場合ニ於テハ仲買人タルノ認許ハ無効トストナ

サント欲ス

○十五番 伊丹 重賢 賛成

○六番 林 友幸 賛成

○議長 廿二番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○九番 渡邊 洪基 現問題ハ原案ニ比スレハ稍可ナレトモ猶不妥ナリトス

○蓋シ本案ノ意ハ罰金ニ處セラレタルノ時始メテ其効ヲ失フ者ナリ然ルニ無効トスト云ヘハ當初ニ溯リテ無効ナルノ嫌アリ故ニ現問題消滅セハ本官ハ別ニ修正說ヲ提出セント欲ス

○廿二番 榎村 正直 九番ハ當初ニ溯リテ無効ナルノ嫌アリト論スレトモ

○宜シク此場合ニ於テノ字ヲ玩味スヘシ然レトモ九番若シ完全ノ名修正アラハ議場ニ請フテ本官ノ説ヲ取消スヘシ然レトモ未タ其修正セントスル文案ヲ聞知セサルヲ以テ先ツ自説ヲ維持ス

○九番渡邊 洪基 本官ハ但此場合ニ於テハ仲買人タルノ認許ハ其効ヲ失フ者トストノ修正説ヲ有スルナリ

○議長 廿二番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者六人

○議長 少數ナルヲ以テ廿二番ノ修正ハ消滅ス

○九番渡邊 洪基 即チ前陳ノ如ク云々ニ處ス但此場合ニ於テハ仲買人タルノ認許ハ其効ヲ失フ者トス修正セントス

○三十番野村 素介 賛成

○廿二番榎村 正直 九番ノ修正説ハ本官ノ修正ヨリモ明晰ナルヲ以テ之ヲ賛成ス

○議長 九番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○廿一番箕作 麟祥 本官ハ廿二番ノ修正ニ既ニ同意ヲ表セリ現問題モ亦同主義ナレハ之ヲ賛成ス

○六番林友 幸 賛成

○議長 九番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者二十人

○議長 多數ナルヲ以テ九番ノ修正ニ決ス

○書記官森山 茂 朗讀

第十一條 前條ノ罰金ハ仲買人ノ身元金ニ對シテ第一先取ノ特權

ヲ有スヘシ

○廿二番 榎村正直

本條ヲ削除セント欲ス其理由ハ罰金ハ甲ニ對シテハ先取ヲナシ乙ニ對シテハ先取ヲナスヘカラスト云フハ不都合ナリ且之ヲ此ノ如クスレハ他モ亦然ラサルヘカラスト苟モ罰金トアレハ此條ナキモ支障ナシ或ハ身元金ニ對シテハ會社ニ先取ノ權アルニヨリ此條ナカルヘカラスト云フハ拘泥ノ甚シキモノナリトス既ニ債主ニ差押ヘラレタルモノナラハ此法律アルモ之ヲ還付スヘシト云フヲ得サルヘシ是レ特ニ本條ヲ要セストスル所以ナリ

○十四番 河瀬眞孝 賛成

○議長 廿二番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○九番 渡邊洪基

本官ハ問題ニ不同意ナリ蓋シ本條ノ如キ躰面上ヨリ云

ヘハ敢テ不可ナキニハアラサレトモ亦已ムヲ得サルノ理由アリテ然ルナリ尤モ仲買人ヨリ取ムルニ於テハ本條素ヨリ不要ナレドモ身元金ヨリ取ムル者ナルヲ以テ第一先取ノ意ヲ明ニスルハ要用ノコトナリ而シテ他ニ仍ホ先取ノ特權ヲ有スル者アルニヨリ到底罰金ノ變躰ヲ示サルヘカラスト

○番二番 鈴木利亨

本條ハ他ノ刑法ニアル如キ罰金ト違ヒ仲買人トナルニハ必ス米商會所ハ千圓以上株式取引所ハ百圓以上ヲ納ムルノ成規ナリ大坂堂島東京堺町等ノ實際ニ於テハ千圓以上三千圓ヲ納ムル者アリ横濱ノ株式取引所モ亦之ニ准セリ株式取引所ノ仲買人ハ平均大凡二百圓ノ身元金ヲ納メテ認許ヲ得タル者ナリ此身元金ハ條例第九條第五節ニ賣買主双方若クハ一方其會所ニ差入ルヘキ証

據金ノ差入方ヲ怠リタルトキ賣買主双方若クハ一方其取引約定ノ期日ニ至リ其約定ヲ執行セサルトキハ會所限リ賣買ノ違約人トシテ處分スルヲ得ルノ明文アリ又其第六節ニハ會所ニ於テ違約人ヲ處分スルハ其違約ニ依リ會所ノ取引上ニ於テ失ヒタル利得ト蒙リタル損害トヲ其者ノ證據金及身元金ヲ以テ償ハシメ云々トアリ其他猶ホ手數料口錢等ハ他ノ債主ニ先ツテ之ヲ取ルノ事項ハ條例第十一條第三節ニ手數料口錢ハ其決算ノ時ニ至リ賣買取引ニ關スル他ノ債主ニ先ツテ之ヲ收受スルコトヲ得トノ明文アリ故ニ今此案ヲ發スルノ後稅額ノ若干額ヲ徵シ既ニ餘金ナキトキハ則チ一圓ヲ一日ニ折算シテ刑ノ實決ニ處セサルノ精神ヨリ第一先取ノ權ヲ以テ準備金ナル身元金ヲ取メントスルニアルナリ若シ廿二番所論ノ

如クンハ普通刑法ニ據ラサルヘカラスシテ畢竟本案ノ精神ニアラサルナリ

○廿一番 實作 麟祥 九番モ番外二番モ現問題ヲ不可ト辨明セリ本官ハ特

ニ番外二番ノ言ニ疑ヲ生セリ番外二番ハ米商會所條例ノ事ヲ引テ辨スレトモ罰金タル刑法ハ姑ク之ヲ措キ夫ノ納稅ニ關セサル罰金アルナリ即チ米商會所條例第十九條第一節ニ會所ノ役員及ヒ株主仲買人等此條例ヲ犯スカ又ハ役員タル者株主仲買人ノ條例ニ背犯シタルヲ不問ニ措キ又ハ背犯セシメタル實証アルトキハ役員并ニ本人トモ其輕重ニヨリ三十圓以上千圓以下ノ罰金ヲ科スヘシトアリ是ニ由テ之ヲ見レハ第十九條第一節ハ先取ノ權アルカ如シ然ルニ今本條ニ特ニ第一先取ノ權ヲ舉ケハ他ト撞着スルニハアラサラ

ン乎如何

○外二番 鈴木亭 廿一番ハ米商會所條例第十九條ノ罰金ハ身元金ヨリ

取ル乎如何ト云フ如クナレトモ問題外ナルヲ以テ辨明ノ責ニ任セ

ス

○廿一番 箕作 麟祥 本案ニ關係ナキノ質問ナルヲ以テ辨明セスト云フニ

アル乎

○外二番 鈴木亭 第十九條ノ罰金ハ身元金ヨリ取ルノ精神ナリヤト問

ヒシカ如シ就テハ該條ハ現行法ニシテ何レヨリ取ルノ明文ナキ以

○上ハ答辨スル能ハサルナリ

○議長 時午ヲ過クルヲ以テ一旦散會シ午餐後更ニ開會セン散會ス

ヘシ

午後零時二十分閉場

午後第一時五分開場

議長代理 東久世通禮

席退

十三番 鍋島直彬

十六番 大久保一翁

廿六番 關口隆吉

三十番 野村素介

卅二番 河田景與

十九番 楠本正隆

二十番 海江田信義

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

○十番柴原和 本官ハ内閣委員ノ辨明ヲ聞テ第一先取ノ文字ノ必要ナルヲ信セシニ午前ニ廿一番ヨリ果シテ然ラハ第十九條第一節ノ罰金處分ト矛盾スルニアラサルヤノ質問アリテ内閣委員ハ問題外ノ質問ナリトシテ之ニ答辨セサリシ是ニ於テカ本官モ亦廿一番ト同感ヲ起セリ何トナレハ一方ハ身元金ニ對シテ第一先取ノ特權ヲ有シ一方ハ然ラスト云ヘハ彼此矛盾スルニヨリ本條ヲ削ルモ可ナルカ如キヲ以テナリ苟クモ問題外ニ涉ルモ其質問ハ自然本案ト連帶ノ法律ナルヲ以テ辨明センコトヲ望ム

○外鈴木利亨 條例第十九條ト本案第十條トハ其罰金ノ性質ヲ異ニセリ午前ニモ辨明セシ如ク仲買人ノ身元金ハ手數料口錢ハ其決算

ノ時ニ至リ賣買取引ニ關スル他ノ債主ニ先ツテ之ヲ收受スルコトヲ得ルノ明文アリ本案第十條ハ脱税ノ罰金ナルニヨリ第一先取ノ文字最も必要ナリトス條例第十九條ハ普通ノ罰金ニシテ何レヨリ取ルノ明文ナキ以上ハ普通刑法ニ據ルヲ知ルヘキナリ故ニ罰金ヲ完納セサレハ實決ニ處スヘシト雖モ此第十條ハ全ク之ニ異ニシテ身元金ノ存スル以上ハ實決セサル者ニシテ其精神大ニ異ナリトス故ニ假令犯人實決ヲ請求スルトモ身元金ノ會所ニ存スル限りハ之ヲ許サルノ精神ナリ若シ夫レ本條ヲ削ルカ如キハ身元金アルモ實決セサルヲ得サルニ至ラン

○十番柴原和 了解セリ然レハ則チ條例第十九條ハ其及フ所ノ區域宏遠ニシテ普通刑法ニ據ルヘキモ本條ハ第十條ノ税金ヲ納メスシテ

脱税スルノミノ事ニシテ既ニ其身元金ヲモ納済ノモノナレハ即チ此内ヨリ第一ニ先取スレハ可ナリ蓋シ税ヲ納メサレハ賣買ヲ爲ス能ハサルハ當然ナレトモ或ハ之ヲ犯ス者アルニヨリ此ノ如ク身元金ノ存スル限リハ實決セスシテ身元金ニ就テ徴スルハ尤モ要用ノコトナリ問題ハ不可ナリトス

○廿二番 榎村正直 番外二番ノ説アリ十番ノ論アレトモ元ト罰金トハ刑名ノ一ニシテ苟モ罰金ト云ヘハ其處分ハ常ニ一定シタルモノナリ然ルニ彼此ノ罰金其性質ヲ異ニスヘシトハ何ノ言ソヤ若シ其罰脱税ノミナランニハ酒造税則等ニモ五倍ノ罰金アルナリ然ルヲ一ハ先取ノ特權ヲ掲ケテ始メテ先取スルヲ得一ハ之ヲ掲ケスシテ先取スルヲ得ト云フカ如キハ法律上最モ好マサル所ナリ然ルニ何ノ爲

メ本案獨リ其取ル所ハ身元金ヨリシ且先取ノ權アルヲ示スノ理アリヤ苟クモ罰金ニシテ出ス能ハスニハ折算シテ禁錮ニ代フヘキナリ或ハ取り易キトスルノ點ヨリシテ罰金ニ種々ノ處分ヲ爲スハ豈好マシカラシヤ是レ之ヲ削除セント欲スル所以ナリ

○議長 廿二番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ廿二番ノ修正ハ消滅シ即チ本條ヲ可ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官

森山茂

朗讀

第十二條 會所及取引所ニ於テ本則納税ノ取締ヲ怠ルトキハ米商會所條例第十九條株式取引所條例第四十八條及本年第四十六號

布告ニ依リ處分シ仍ホ其資本金ヲ以テ納税ノ欠額ヲ追徴スヘシ

右奉 勅旨布告候事

○十五番 伊丹重賢 本條ヲ修正セント欲ス盖シ米商會所條例第十九條ハ

共計四節アリ若シ單ニ第十九條ト掲クルトキハ或ハ恐ル四節共ニ

適用スルノコトアルヘキヲ而シテ其第二節ニハ前條ヲ犯シタル者

ヲ告發シタル者ニハ其告發ニ依テ科シタル罰金ノ半額ヲ給ストア

リ本案モ亦此明文ニ准スヘキナリ然ルニ株式取引所條例ニハ告發

者ニ其告發ニ依テ科シタル罰金ノ半額ヲ給スルノ明文ヲ見ス惟フ

ニ兩會所ヲ分テ之ヲ論セハ論スルヲ得ヘキモ同ク是レ納税ノ事ニ

シテ一ニ告發者ヲ賞スルコトアリテ一ニ之ナキハ不可ナラスヤ又

株式取引所條例第四十八條ハ取引所ノ役員及株主並仲買人等此條

例ヲ犯スカ又ハ役員タルモノ株主并仲買人ノ此條例ニ背戻シタル

ヲ不問ニ措キ又ハ背戻セシメタル實証アルトキハ役員并ニ本人ト

モ其事ノ輕重ニ依リ三十圓ヨリ少ナカラス千圓ヨリ多カラサル罰

金ヲ科スヘシトアリテ是レ即チ米商會所條例第十九條第一節ト同

旨ナリ而シテ此第十九條全節ヲ適用ストスレハ第三節ニハ「官員檢

査ノ節簿冊書類ヲ差出スコトヲ拒ミ又ハ疑問ニ答辨ヲ爲サ、ル者

アルトキハ頭取又ハ其主任者へ五十圓以下ノ罰金ヲ科スヘシトア

リ是亦株式取引所條例第四十九條ト同旨ナルニ本案ハ此第四十九

條ヲ闕ケリ要スルニ其闕ク所此ノ如クナルモ其處罰ニ至テハ同ク

本條例ニヨルモノナラン而シテ本條ハ特ニ役員ノ取締ニ關スルモ

ノナレハ本官ハ一刀兩斷シテ會所及取引所ニ於テ本則納税ノ取締

ヲ怠ルトキハ三十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ其資本金ヲ以テ納税ノ闕額ヲ追徴スヘシト修正セント欲ス蓋シ是レ米商會所條例第十九條第一節株式取引所條例第四十八條ヲ精神トシ且本案第七條ヲ犯ス者モ亦此中ニ含蓄セシムルニアルナリ

○廿二番 榎村正直 十五番ヲ賛成セント欲スレトモ先ツ内閣委員ノ辨明

ヲ乞ハントス即チ本條中ニハ米商會所條例第十九條トアレハ其第二節ナル告發者ヲ賞スルノ事ナリ而シテ株式取引條例ニハ此事ヲ見ス惟フニ米商會所條例ハ仲買人ノ犯罪ニ至ルマテ告發者ヲ賞スルノ事アリテ株式取引所條例ニハ同ク納税法ナルニ之ヲ別ニシ且米商會所條例中第十九條第四節ハ官員帳簿檢査ノ事アルニ株式取引所ハ亦此案中ニ之ヲ除キシハ深意ノアルコトナラン敢テ説明ヲ

乞フテ去就ヲ決セント欲ス

○番二 鈴木利亨 米商會所條例第十九條ニ告發者ニ罰金ノ半額ヲ給ス

ルノコトアリテ株式取引所條例ニ之ナキハ何ソヤ又株式取引所條例第四十九條官員帳簿檢査ヲ拒ムノ罰ナキハ何ソヤトハ至當ノ質問ナリト信ス然レトモ現行ノ兩條例既ニ其法ヲ異ニスル以上ハ之ヲ一ニセント欲セハ必ス其一ヲ改ムルノ外ナキノミ蓋シ兩條例其

法ヲ異ニスル所以ノ原由ハ未タ詳カニセサレトモ惟フニ米商會所條例ハ株式取引所條例ヨリ先ニ成リシモノナルヲ以テ彼項ヲ存シ株式ハ其後ニ設クル所ノ法案ナレハ斯ル德義ニ關スルモノハ存セサルヲ可トシテ之ヲ掲ケサリシナランカ其深意如何ニ至テハ本員ノ知ル所ニアラス又株式取引所條例第四十九條ヲ掲ケサルハ他ハ

條例第八章第四十三條ニモ「農商務卿ニ於テ要用ト思考スルトキハ何時ニテモ官員ヲ派遣シ或ハ其地方長官ヘ達シテ其取引所ノ業体及ヒ金銀其他諸帳簿等ヲ検査セシムルコトアルヘシ」トアル如ク即チ農商務卿ノ直轄ニシテ大ニ丁寧ヲ極メ夫ノ米商會所ノ地方長官ニ委任シタル如キモノニアラサレハ之ヲ掲クルヲ要セス特ニ本案ハ納税ノミニ對スルヲ旨トスルモノナリ

○十番柴原和 本官モ疑義ヲ質サント欲ス此ニ第十九條トアレハ該條中ノ四節ヲ含蓄スル乎本官ハ之ヲ含蓄スルト信スルヲ以テ株式取引所條例第四十九條ヲ要セスト解セシニ今番外二番ハ該第四十九條ハ第四十三條ニ讓リ米商會所條例第十九條第二節ハ善法ニアラサレトモ姑ク之ニ從フト云フカ如シ然ラハ則チ第十九條ノ下第一

節ノ三字アリト解セサルヲ得サルカ如シ如何

○番外二番鈴木利亨 米商會所ニ關シテ本則ヲ犯セハ米商會所條例ニ依テ之ヲ處分シ株式取引所ニ關シテ本則ヲ犯セハ亦株式取引所條例ニ依テ處分スルノ精神ナリ而シテ第十九條ハ即チ全節ニシテ第四十八條モ亦全條ヲ適用スルナリ兩條例ノ分別此ノ如クナルヲ以テ株式取引所條例ニ關スル告發ハ米商會所條例ノ知ル所ニアラサルナリ

○廿二番榎村正直 番外二番ノ答辨ハ米商會所株式取引所互ニ其條例ヲ異ニスルヲ以テ納税規則モ亦同一ナラスト云フカ如シ是レ甚々困難ナルコトナレハ終ニ十五番ヲ賛成セサルヘカラサルニ至レリ就テ十五番ニ質ス原案ハ本年第四十六號布告ノ文字アリ此布告ハ「米

商會所及株式取引所ノ賣買ニ不正ノ要弊アルカ又ハ賣買取引上ノ景況穩當ナラサル爲メ公共ニ妨害ヲ及ホスト認ムルトキハ農商務卿ハ其會所及ヒ取引所又ハ仲買人ノ營業ノ一部又ハ全部ヲ停止若クハ禁止シ又ハ役員ヲ退罷セシムルコトアルヘシトアリ本官ハ此布告ハ本案中ニ掲ケサルモ其弊害ヲ見ハ素ヨリ農商務卿ノ處分ニ任シテ可ナリト信スルナリ十五番ハ之ヲ爲ス如何

○十五番 伊丹重賢 本官ハ納税ニ係ルモノ、ミヲ掲ケテ其他ハ之ヲ要セ

ストスルナリ元來本年第四十六號布告ハ米商會所條例第二十條ヲ單行セシメタルモノニシテ其主要ハ納税ニ關スルニアラスシテ惡弊ヲ矯ムルニアリ故ニ本案ニ要ナキモノトスルナリ

○廿二番 榎村正直 賛成

○議長 十五番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○廿一番 笑作麟祥 現問題ニハ不同意ナリ其論點數端アレトモ先ツ最後

ノ本年第四十六號布告ノ文字ヲ削ルノ不可ナル理由ヲ辨セン蓋シ第四十六號布告ハ米商會所及株式取引所ノ賣買ニ不正惡弊アルカ又ハ賣買取引上ノ景況穩當ナラサル爲メ公共ニ妨害ヲ及ホスト認ムルトキハ農商務卿ハ其會所及取引所又ハ仲買人ノ營業ノ一部又ハ全部ヲ停止若クハ禁止シ役員ヲ退罷セシムルノコトナリ然ルニ本案ノ重税ヲ課スルニ關ハラス之ヲ削ラハ會所ニシテ監督ノ義務ヲ怠ル如キコトアラハ如何スヘキヤ第四十六號布告ト本案ノ異ナルヲ云ハ、他ハ不正ノ惡弊ヲナシ此ハ納税ヲ怠リタルノ差ナリ即チ第四十六號ハ純粹賭博ノ如キ不正ヲ爲ストキニ停止若クハ禁止

シ本案ハ會所納稅ノ監督ヲ怠リタル時之ヲ禁止若クハ停止スルモノニシテ若シ之ヲ削ラハ監督ノ義務ヲ怠リタルトキハ如何スヘキヤ唯歲入ヲ減スルノ事アルヘキノミ又第十九條等ノ文字モ之ヲ削ルヲ要セス畢竟米商會所條例第十九條株式取引所條例第四十八條ハ共ニ其罰金ノ三十圓以上千圓以下ナルハ現問題ニ異ナルコトナシ又米商會所ハ告發者ニ罰金ノ半額ヲ給スルノコトアリテ株式取引所ニ之ナキモ亦恠ムニ足ラス況ヤ告發者ニ罰金ノ半額ヲ給スル如何ハ本條ニ關係ナキヲ何トナレハ米商會所條例第十九條第二節ハ前節ヲ犯シタル者ヲ告發シタル者云々トアリ其所謂前節トハ即チ第一節ナル會所ノ役員及株主仲買人等此條例ヲ犯スカ又ハ役員タル者株主仲買人ノ條例ニ背犯シタル者ヲ不問ニ措キ又ハ背犯

セシメタル云々ヲ云フ者ニシテ納稅規則ヲ怠ル者ニアラサルヲ知ルヘケレハナリ又帳簿検査ノ事ハ米商會所條例第十九條第四節ニ株式取引所第四十九條ニアレトモ是亦本案ヲ議スルニ要ナシ何トナレハ米商會所條例第十九條第四節ハ「官員検査ノ節簿冊書類ヲ差出スコトヲ拒ミ又ハ疑問ニ答辨ヲ爲サル者アルトキハ云々」トアリテ納稅ノ取締ヲ怠ルノ文字ナケレハナリ本案第九條ニハ「大藏卿ハ地方廳ニ委任シ又ハ隨時官吏ヲ派出シ納稅ノ精算ヲ検査セシムヘシ」トアリ是レ則チ前ノ第四節ニ適當セリ看ヨ本條ノ冒頭ニ本則納稅ノ取締ヲ怠ルトキハトアルニアラスヤ何ソ現問題ヲ要セン但シ原案稍疑點アルハ第十九條ハ共ニ通シテ四節ナリ然ルニ單ニ第十九條ト掲クルトキハ或ハ之ヲ皮相スレハ關係ナキ第二節第三節

第四節ヲモ含蓄スルカノ嫌アルヲ以テ第十九條第一節トセハ可ナ
ラントス之ヲ要スルニ本條ハ敢テ新規ノ罰ヲ設クルニアラス本則
ヲ適用スルモノニシテ若シ修正ノ如クスルトキハ新規ニ似タルノ
觀アルナリ寧ロ前條規ヲ用フルトスルコソ妥當ナリトス第四十六
號布告ノ文字ヲ削レハ兩會所共ニ如何ナル所業ヲナスモ農商務卿
ハ停止禁止ノ權ヲ失フニ至リ國庫モ亦充實ヲ得サルヘキナリ

○十番柴原和

本官モ現問題ニ不同意ナリ但シ亦廿一番ト見解ヲ異ニ
スルコトアリテ原案ニモ同意スルゴト能ハス番外二番ハ所犯米商
會所ニ係ル者ハ其條例第十九條ニ依リ株式取引所ニ係ル者ハ亦其
條例第四十八條ニ依リ而シテ兩者共ニ第四十六號ヲ以テ處分スト
辨明スレトモ本官ハ之ヲ讀テ番外二番ノ如キ見解ヲ下スコト能ハ

ス若シ然リトセハ原案ハ不備ナリトス内閣委員或ハ見解ヲ誤ルコ
トナキニハアラサル乎又廿一番ノ第十九條ハ第一節ノミナリト云
フハ牽強ノ說ニハアラサラン乎本官ハ四節ヲ通スルナリト信ス然
ラスンハ本案ノ罰ハ何ノ處ニアルヘキヤ株式取引所條例第四十九
條ヲ掲ケサルモ米商會所條例第十九條第三節之ヲ含ムカ爲メナラ
ン而シテ一方ハ告發者ニ賞金ヲ與ヘ一方ハ之ヲ與ヘサルハ不可ナ
リ本官ハ修正シテ第十九條第一節トスルヲ可ナリト信ス然レトモ
亦然ル如クンハ米商會所條例第十九條第四節株式取引所條例第四
十九條ノ罰ヲ處スルコト能ハスシテ終ニ本案第九條ノ所犯ヲ處ス
ルノ法ヲ闕クナリ尤モ法律ニ明確ナル廿一番モ「前節ヲ犯シタル」ヲ
解スル彼カ如キヲ見レハ本官ハ甚々惑ヘリ故ニ本官ハ現問題消滅

シテ他ニ好修正説出スルハ特ニ第十二條ニ限リ修正委員ヲ置キ精密ニ調査センコトヲ望ム

○十五番 伊丹重賢 最モ論鋒ノ向フ所ハ第四十六號布告ヲ削ルノ不可ナルニアリテ終ニ之ヲ削レハ徵稅ノ目的ヲ失フト云フニ論到セリ然レトモ四十六號布告ハ稅則外ノコトヲ云フモノナレハ本案稅則内ノコトニ要ナキナリ廿一番ハ米商會所條例第十九條ハ通シテ四節ナレトモ本案ハ其第一節ノミヲ指スト辨明セリ而シテ内閣委員ハ然ラスト云フ告發人ニ罰金ノ半額ヲ給スルノコト米商ニアリテ株式ニナシ然ルヲ廿一番ハ一家言ヲナシテ第一節ノミナリト云ヘリ本官ハ帳簿檢査ヲ拒ム等ノ事ハ各其本條例ニヨリテ之ヲ處分セハ足レリト信スルナリ

○九番 渡邊洪基

現問題ハ文章ハ美ナレトモ本官ハ猶原案ヲ可トス廿一番ハ第十九條第二節以下ハ前節ヲ承ケタル者ナリト云フハ牽強傳會ナリ或ハ一方ニ告發者ヲ賞シ一方ニ賞セサルハ不可ナリト云ヒ番外二番ハ所犯ノ米ニ係ル者ハ其條例第十九條ニ依リ株式ニ係ル者ハ亦其條例第四十八條ニ依テ處分スト明白ニ分派セシハ兩條例ニ拘泥シテ誤リヲ致セシナラン本案ノ意ハ決シテ然ルニアラス第十九條ト第四十八條ト第四十六號布告トヲ合同シテ之ヲ處分スルニアルナリ是レ株式取引所條例第四十九條ヲ掲ケサルヲ以テモ知ルヘキナリ或ハ然ラハ米商會所條例第十九條第一節ト株式取引所條例第四十八條トハ同一ノ法律ニシテ之ヲ掲ケテ他ヲ掲ケサルハ何ソヤトノ説アルヘケレトモ是レ兩方ニカ、リタル規則ナルカ故

ニ兩方ヲ合同シテ掲ケタルノミナリ別ニ修正セサルモ原案ニテ充
分ナリトス

○外番保和 本案ハ内閣ニ於テモ種々ノ論アリタレトモ到底米商

會所條例第十九條ト株式取引所條例トハ齟齬スル所モアルニヨリ
之ヲ合同シテ此ノ如ク起案シタルナリ故ニ兩條例ニ異同ハアルモ
九番ノ如ク解スレハ可ナリ番外二番ノ辨明或ハ密ニ失シテ各位ノ
疑ヲ來タセシナラン

○廿二番正棋村 番外二番ノ答辨ヲ信シテ現問題ヲ贊成セシニ今ヤ又
番外一番ノ言ヲ聞キ茫然自失スルニ至レリ就テ更ニ内閣委員ノ明
辨ヲ乞フ米ニ係ル罰ハ米商會所條例ニ依テ處斷シ株式ニ係ル罰ハ
株式取引所條例ニ依テ處斷スル乎又ハ兩會所條例及本年第四十六

號布告ヲ合同シテ適宜之ヲ處斷スルニアル乎即チ一例ヲ舉レハ株
式取引所ノ仲買人ノ脱稅シタル者ヲ告發スル者ニハ其罰金ノ半額
ヲ給與スル乎

○外番保和 兩會所條例及第四十六號布告ハ何レノ場合ニ於テモ
之ヲ適用スルナリ即チ株式ニ係ル犯罪ナレハ其本則ニ從フハ勿論
ナレトモ納稅ヲ怠ルニ付テハ告發者ニ罰金ノ半額ヲ給スルハ米商
會所條例第十九條第二節ヲ適用スルナリ

○廿二番正棋村 然ラハ番外二番ノ答辨ハ誤謬ト斷定シテ可ナリヤ
○外番保和 番外二番ノ誤謬如何ハ本官之ヲ保証スル能ハサレト
モ若シ兩會所條例及第四十六號布告ヲ分別シテ處斷スト云ハ、誤

謬ナリ

○廿二番 榎村正直 本官ハ米商會所條例ハ告發者ニ罰金ノ半額ヲ給スル

ノコトアリテ株式取引所條例ニ之ナキハ何ソヤト問ヒシニ番外二番ハ條例ニ明文ナキ以上ハ告發スルモ其罰金ノ半額ヲ給與セスト答ヘタリ然リト雖モ是レ果シテ本官ノ誤聞ナリヤ番外二番ノ過辨ナリヤ各位ノ判定ヲ乞フ

○九番 渡邊洪基 本官モ番外二番ノ辨明ヲ聞クコト廿二番ノ如シト雖モ内閣委員モ或ハ見解ヲ異ニスルコトナキニハアラサレハ之ヲ詰難スルモ要ナカラシ本官輩ハ自己ノ信スル所ヲ以テ定斷セント欲スルナリ

○卅一番 鍋島幹 本官ハ原案ニテ可ナルヘシト信シテ沈黙セシニ番外一番ノ辨明ニ由テ一ノ疑團ヲ生シタリ即チ番外一番ハ本則納稅ノ

取締ヲ怠ルトキハ兩會所條例及第四十六號布告ヲ合同シテ處分ス

ト云ヘリ然ラハ米商會所條例第十九條第一節ト株式取引所條例第四

十八條トハ同一ナルモノヲ併掲スルハ重複ニアラサルナキヲ得ンヤ

○番一番 安場保和 卅一番ノ問ハ前陳ノ如ク米商會所條例第一節ト株式

取引所條例第四十八條トハ同一ノ事ヲ示スモノナレトモ之ヲ網羅

スルカ爲メナリ

○廿一番 箕作麟祥 内閣委員モ其論旨ヲ異ニセリ本官ハ熟考スルニ第十

九條ハ通シテ四節アリテ或ハ全節ヲ適用スルコトアルヘシト解スルヲ恐ル、ナリ既ニ納稅ノ取締ヲ怠ルトキハ三十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處スルノコトアレハ是ニテ足ラサルトキニ第四十六號布告ヲ適用スルニアルナリ帳簿検査罰金給與ノコトヨリシテ議論大

ニ紛糾セリ然レトモ卅一番モ云フ如ク兩條例ヲ別ニスレハ一目明了ナリトス故ニ本官ハ現問題消滅セハ第十九條ノ下第一節ノ三字ヲ加フルノ修正説ヲ提出セント欲ス

○議長 十五番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ

○起立者二人

○議長 少數ナルヲ以テ十五番ノ修正ハ消滅ス

○廿一番箕作麟祥 即チ前陳ノ如ク第十九條ノ下第一節ノ三字ヲ插入セント欲ス

○廿二番棋村正直 本官ハ十五番ヲ賛成シ更ニ内閣委員ニ明辨ヲ求メシ

ハ第十九條ハ四節ヲ通スルノ意ナリヤ否ヲ明ニセンカ爲メナリシナリ今改メテ廿一番ヲ賛成ス

○卅一番鍋島幹 本官モ内閣委員ノ辨明ニヨリ一時迷ヒヲ生シタレト

モ元ト廿一番ト見解ヲ同フスルヲ以テ之ヲ賛成ス

○議長 廿一番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○十番柴原和 賛成ス第一節ノ事ハ内閣委員ニモ之ヲ質シ十五番ノ修

正説ニ對シテモ亦之ヲ掲クヘシト豫陳セシ位ナリシ然レトモ發議

者ニ質スハ當初本官ハ原案ノ第十九條ハ四節ヲ通スト信セシヲ以

テ株式取引所條例第四十九條ヲ掲クルヲ要セストセリ然ルニ今第

一節ト明掲セハ本案第九條ノ明文ヲ犯ス者アルニ遇ハ、何ヲ以テ

之ヲ處分スヘキヤ

○廿一番箕作麟祥 本案第九條ナル納稅ノ精算ヲ検査スルニ臨ミ之ヲ拒テ検査ヲ受ケサルトキハ縱令本案ハ納稅規則ナルモ其罰ハ本則ニ

ヨルナリ猶ホ條例第十九條第四節ノ明文ヲ拒ム者ト其之ヲ拒ムニ至テハ一ナリトス若シ又之ヲ妨ケスシテ只取締ヲ怠ルニ付テ故障アレハ三十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處スルニハ兩會所條例ニ就テ各其犯ス所ニ依テ之ヲ處斷スルナリ

○十番柴原和

本條ノ修正ハ之ヲ賛成スレトモ第九條ヲ犯シタル者ハ條例第十九條第四節ヲ以テ處罰スルノ言ハ賛成スルコト能ハス若シ第九條ヲ犯ス者ハ本則ニ從テ之ヲ處斷スト云ハ、何ソ第九條ヲ要センヤ蓋シ第九條ヲ要スルハ單行律ナルカ爲メナラン故ニ本官ハ本案ノ外他ニ本則ナル納稅規則アルヲ知ラサルナリ新ニ第十三條ヲ起シテ第九條ヲ犯ス者ハ米商會所條例ノ本則ヲ以テ處分ス等ノコトアラハ分明ナルヘシト雖モ然ラスンハ廿一番ノ如キ說ヲ爲

ス能ハス又第二節ハ前節ノ字アルヲ以テ第一節ヲ指スナリト云フモ其第一節ハ大綱ヲ舉ケタル者ナレハ單ニ第十九條トアレハ四節ヲ通シテ適用スルノコト、ナルナリ故ニ今廿一番ヲ賛成スレトモ本官ハ第四節ノ文ヲ移シテ特條ヲ添ヘント欲スルナリ

○九番

渡邊洪基

本官ハ現問題ヨリハ寧ロ原案ヲ可トス何トナレハ現問題ハ十番ノ云フ如キ特條ヲ要スルニ至レハナリ蓋シ第十九條第四節ノ帳簿ヲ檢查スル等ハ元來取引ヲ確實ナラシメンカ爲メニシテ納稅ニ關係ナキモノナリ此關係ナキ者ヲ無理ニ援引スルハ不當ナリ又廿一番ハ原案第十九條トアルハ四節中ノ第一節ノミヲ目的トセルヲ以テ其他ハ之ヲ掲クルモ効ナシト云ヘリ是レ明了ヲ欲シテノ言ナルヘシト雖モ若シ此ノ如クンハ亦第十九條ヲ設ケタル特別

取締ヲ失フナリ又十番ハ特條ヲ設クルト云ヘリ是亦不要ナリ蓋シ第十九條第四十八條第四十六號共ニ強テ引付ルナリ之ヲ強テ引付ケハ同ク第四節ヲ適用シテ不可アルコトナシ又第二節ハ不明ナリト云フモ何ノ不明カ之アラシヤ何トナレハ第四十八條ノミニテ足ラハ可ナルヘキモ既ニ第十九條第四節ヲ適用セサルヘカラサルニ會ハ、之ヲ適用シテ可ナリ兩條例ノ一ニ告發者ニ罰金ノ半額ヲ給スルノコトアリテ一ニ之ナキハ條例編制ノ誤リナリ故ニ特條ヲ設ケサルモ可ナリ因テ原案ニテ足レリトス

○廿一番笑作 麟祥 第十九條第二節ノ告發者ニ給與スルノコトハ本案ニハ掲ケサルヲ可トス即チ現行法ハ同ク罰金ニ相違ナキモ納稅ノ爲メノ罰金ニアラサルナリ而シテ本案ハ第十條ニモアル如ク稅ヲ收

ムルヲ旨トセリ就テハ告發者アルモ其告發ニ由テ得ル所ノ罰金ハ即チ稅ノ性質ヲ具フルモノナレハ告發者ニ給與スルヲ要セサルナリ

○議長 廿一番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者八人

○議長 半數ナルヲ以テ職權ニヨリ即チ廿一番ノ修正ニ決ス

○十番柴原和 前陳ノ如ク即チ米商會所條例第十九條第四節株式取引所條例第四十九條ノ文ヲ移シテ新ニ第十三條ヲ起シ第十三條第九條ノ場合ニ於テ會所及取引所ノ役員又ハ仲買人等簿冊書類ヲ差出スコトヲ拒ミ又ハ疑問ニ答辨ヲナサル者アルトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ課スヘシトセントス

○十四番 河瀬 眞孝 賛成

○議長 十番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○議長 十番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者六人

○議長 少數ナルヲ以テ十番ノ修正ハ消滅ス

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

○明治九年^{八月}第百五號布告米商會所條例第十條第三節中約定代金高十分ノ二トアルヲ十分ノ一ト改メ第十五條第一節中賣買手數料總金高十分ノ四トアルヲ十分ノ二ト改ム但 年 月 日ヨリ施行ス
右奉 勅旨布告候事

○議長 本案ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十五人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

○明治十一年^{九月}第三十號布告株式取引所稅額ノ儀手數料其他現收セ
ル總金高十分ノ一トアルヲ賣買手數料總金高十分ノ一ト改ム但
年 月 日ヨリ施行ス

右奉 勅旨布告候事

○議長 本案ニ同意者ハ起立スヘシ

全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決シ茲ニ第二讀會ヲ了ル

○外一番保和 本家ハ始メヨリ特例ヲ以テ議定サレ既ニ第二讀會ヲ

了リタルノ宣告アリタレハ要急ノ旨ニ副ヒ更ニ第三讀會ヲ開カレ

ンコトヲ請求ス

○議長 内閣委員ノ請求ニ應スヘシト思考スル者ハ起立スヘシ

起立者十四人

○議長 多數ナルヲ以テ直ニ第三讀會ヲ開ク

書記官 森山 朗讀

布告案

米商會所并株式取引所仲買人納稅規則左ノ通制定シ 年 月 日

ヨリ施行ス

○議長 本案ニ同意者ハ起立スヘシ

全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 朗讀

米商會所株式取引所仲買人納稅規則

第一條 米商會所仲買人定期賣買ヲ爲ストキハ賣買双方ヨリ各約

定代金高千分ノ五ヲ納稅スヘシ

○議長 本條ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十五人

○議長 多數ナルヲ以テ本條ニ決ス

書記官 森山 朗讀

第二條 株式取引所株式仲買人公債證書并諸株式ノ定期賣買ヲ爲

ストキハ賣買双方ヨリ各約定代金高千分ノ一ヲ納税スヘシ

○廿七番 黒田清綱 第二讀會ニ於テ修正ヲ加ヘサルノ條項ハ連帶議決ニ

付センコトヲ建議ス

○議長 發議ナキヲ以テ本案ニ可決シ以下廿七番ノ建議ヲ容レ連帶議決ニ付スヘシ

書記官 森山茂 朗讀

第三條 第一條第二條ノ場合ニ於テ定期内ニ轉賣又ハ買戻ヲ爲ス者ハ其轉賣又ハ買戻ニ係ル税ヲ免除ス

第四條 株式取引所金銀貨仲買人金銀貨ノ取引ヲ爲ストキハ賣買双方ヨリ各其取引代金高千分ノ二半ヲ納税スヘシ

第五條 賣買ヲ解約スルコトアルモ其税金ハ之ヲ還付セス

第六條 税金ハ會所又ハ取引所ニ納ム可シ

第七條 會所及取引所ハ仲買人ヨリ納メタル税金ヲ每一箇月取纏メ翌月十日限り地方廳ニ上納スヘシ

第八條 税金徴收ノ規則ハ大藏卿ノ達ヲ以テ之ヲ定ム可シ

○議長 發議ナキヲ以テ可ト認メ次條ニ移ルヘシ
書記官 森山茂 朗讀

第九條 大藏卿ハ地方廳ニ委任シ又ハ隨時官吏ヲ派出シ納税ノ精算ヲ検査セシムヘシ

第十條 税金ヲ納メスシテ賣買取引スル者ハ脱税高三倍ノ罰金ニ處ス但此場合ニ於テハ仲買人タルノ認許ハ其効ヲ失フ者トス

第十一條 前條ノ罰金ハ仲買人ノ身元金ニ對シテ第一先取ノ特權ヲ有スヘシ

第十二條 會所及取引所ニ於テ本則納稅ノ取締ヲ怠ルトキハ米商會所條例第十九條第一節株式取引所條例第四十八條及本年第四十六號布告ニ依リ處分シ仍ホ其資本金ヲ以テ納稅ノ欠額ヲ追徵スヘシ

右奉 勅旨布告候事

○九番渡邊 洪基 第二讀會ニ於テ第十二條ニ第一節ノ三字ヲ插入セリ然ルニ十番ノ新第十三條ヲ起スノ說消滅セシ以上ハ第一節ノ三字ヲ插入スルハ不完全ナリトス蓋シ本案ハ第一條ヨリ第七條ニ至ルマテハ稅金ノ事ニシテ第十條ニ罰金アリテ第九條ノ裁制ナシ惟フニ

本則ハ納稅一般ノ取締ニシテ他ヲ援引スルコト能ハサルモノナレハ第九條アルモ之カ裁制ナクンハ其用ヲ爲サ、ルナリ若シ第九條ヲ削リテ兩會所條例ニ委任セハ猶ホ可ナルヘシト雖モ既ニ第九條ヲ存スル以上ハ本則ヲ以テ裁制スルノ外他ニ裁制ノ道ナキヲ以テ第一節ノ三字ヲ削ラント欲ス其告發者ニ罰金ノ半額ヲ給スルハ好マサルノコトナレトモ蓋シ罰金ヲ多取セント欲スルノ意ニ外ナラサルヘシ然リト雖モ此法ノ不可ナルニ關ハラス一方ニ有テ一方ニナキハ最モ不可ナルヲ以テ兩方ニ之ヲ掲クル乎又ハ一方ヲ削ル乎ハ他日政府ノ爲ス所ニアルヘキノミ故ニ特ニ第一節ニ限ラサルヲ可トス

○一番神田 孝平 賛成

○十四番 河瀬 眞孝 賛成

○三番 長岡 護美 本官ハ始終沈黙セシニ第二讀會ニ於テ一人ノ多數ヲ以

テ第一節ノ字ヲ挿入スルニ決シタリ然レトモ到底第一節ノ字ハ納
税ノ取締ヲ怠ルトキハノ文字アルヲ以テ不要ナリトシ九番ノ修正
説ヲ賛成ス

○六番 林 友幸 第一節ノ字ナキモ本案ノ題號既ニ納税規則トアルヲ以

テ足レリトス因テ之ヲ賛成ス

○十番 柴原 和 本官ハ第二讀會ニ於テ第一節ノ字ヲ挿入スルノ説ヲ賛
成セシハ新ニ第十三條ヲ起シテ現行法第十九條第二節ヲ除キ道德
ヲ保持セント欲シタレトモ新第十三條ヲ起スノ説消滅セシ以上ハ
輕重ヲ較量シ寧ロ道義ヲ壞ルモ法律ノ不完全ヲ厭フテ九番ノ修正

説ヲ賛成セサルヘカラス然ルニ第九條ヲ存スル以上ハ之カ裁制ナ
キ能ハス某議官ハ第九條ヲ犯ス者ハ米商會所條例第十九條第三節
ヲ適用スト論スレトモ本案ハ單行律ナレハ他ヲ援引シテ處分スル
ハ如何ナル明判官モ之ヲ爲ス能ハサルヘシ

○議長 九番ノ修正説ハ成數ノ賛成者アルヲ以テ問題トナス

○廿一番 笑作 麟祥 本官ハ必スシモ第一節ノ三字ヲ挿入セサルヘカラス

ト固執スルニアラス唯見解ノ混雜ヲ防カンカ爲メナリ十番ハ始メ
ハ大ニ本官ノ修正ヲ賛成シ終ニ新第十三條ヲ起スノ修正消滅セシ
ヨリ忽チ反對ヲ爲セリ因テ十番ニ問フ然ク帳簿ノ検査ヲ必要トシ
テ反對ヲ表セハ株式取引所條例第四十九條ハ何ヲ以テ之ヲ問ハサ
ルヤ若シ第一節ノ三字ヲ削レハ帳簿検査ニ介意ナシトセハ株式取

引所條例ノ第四十九條モ亦同ク帳簿検査ノ事ナルニアラスヤ豈彼ヲ不要トシ此ヲ必要トスルノ理アルヘケンヤ本官ハ苟モ罰金ノ事サヘアラハ足レリトスルナリ其第一節ノ字ナキカ爲メニ議場ニ於テスラ此ノ如ク混雜スルヲ見レハ人民ノ惑フヤ知ルヘキナリ

○十番柴原和 本官ハ内閣委員ノ辨明不明ナルヨリシテ十五番ノ修正

消滅セハ特ニ第十二條ヲ修正委員ニ附托スヘシト公言セシ位ナリ

○シニ廿一番ノ修正説明問題トナリ爾後益本案ノ意味ヲ明ニシタルヲ以テ廿一番ヲ賛成シ新第十三條ヲ起スノ説ヲ提出セシナリ然ルニ其修正消滅セシ以上ハ第一節ノ字ヲ削レハ四節ヲ通シ且第四十八條四十六號布告ヲ適用スルヲ得ルヲ以テ更ニ九番ヲ賛成セリ而シテ其第四十九條ヲ掲ケサルハ第十九條ト重複スルヲ以テナリ

○卅一番鍋島幹 問題ハ不同意ナリ第一節ノ字ヲ削ラハ米商會所條例

ヲ犯シタル者ヲ處分スルニハ便利ナルヘシト雖モ株式取引所條例ニ係ル犯罪ヲ處分スル能ハサラン即チ帳簿ノ検査ヲ拒マハ米ニ係ル者ハ其條例第十九條第四節ニ依テ之ヲ處分スルモ株式ニ係ル犯罪ハ第四十九條ノ文字ナキ以上ハ處分ノ法ナキナリ而シテ十番ノ如ク見解ヲ下シテ引用相通スルトキハ第四十八條ハ第十九條アルカ爲メニ蛇足トナルニアラスヤ

○三番長岡護美 本官ハ新ニ仲買人納稅規則ヲ立テ、第九條ノ裁制ナキヲ好マサルナリ若シ夫レ株式取引所條例第四十九條ハ他日ノ改正ヲ待タハ可ナラシノミ

○十五番伊丹重賢 本官ハ第二讀會ニ修正説ヲ提出シテ大ニ駁撃ヲ受ケ

○爾後數回ノ討論アリテ終ニ廿一番ノ修正ニ決定セリ要スルニ第十
二條ノ罰金ハ三十圓以上千圓以下ニシテ大躰本官ノ意見モ廿一番
ト同一ナリ故ニ第十九條ヲ流用スルトキハ株式第四十八條ト同精
神トナルナリ第一節ノ三字ヲ削ルヲ用ヒス

○九番渡邊 洪基 或ハ第十九條ノ四節ヲ通シテ流用スルトスレハ其第一
節ト第四十八條トハ重複スレトモ兩方ニ係ル者ナルヲ以テ疑惑ヲ
生セシメサルカ爲メニ特ニ之ヲ掲ケシナラン彼ノ在明明德ノ語ハ
之ヲ慥カメル爲メニ外ナラサルナリ故ニ此第四十八條ノ重複アル
以上ハ更ニ第四十九條ヲ掲クルヲ要セス一ノ重複ヲ示サハ足ルナ
リ即チ此ノ如クシテ始メテ兩條例ト第四十六號布告トノ鼎足ヲ相
爲スナリ

○議長 九番ノ修正ニ同意者ハ起立スヘシ
起立者八人

○議長 半數ナルヲ以テ職權ニヨリ本條ニ決ス

○一番神田 孝平 些細ナカラ第十條但此場合ニ於テハ仲買人タルノ認許
ハトアリテハ句調不妥ナルヲ以テ此場合ニ於テ仲買人云々トハノ
一字ヲ削ラント欲ス

○議長 一番ノ修正說ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ス即チ本條ヲ可ト認
メ次案ニ移ルヘシ

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

明治九年八月第百五號布告米商會所條例第十條第三節中約定代金高

十分ノ二トアルヲ十分ノ一ト改メ第十五條第一節中賣買手數料總
金高十分ノ四トアルヲ十分ノ二ト改ム但 年 月 日ヨリ施行ス
右奉 勅旨布告候事

○議長 發議ナキヲ以テ本案ヲ可ト認メ次案ニ移ルヘシ

書記官 森山 茂 朗讀

布告案

明治十一年九月第三十號布告株式取引所稅額ノ儀手數料其他現收セ
ル總金高十分ノ一トアルヲ賣買手數料總金高十分ノ一ト改ム但
年 月 日ヨリ施行ス

右奉 勅旨布告候事

○議長 本案ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者十五人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ茲ニ第三讀會ヲ了ル決議ノ次第
ハ例ニ遵ヒ上奏セン散會スヘシ

午後第三時五十五分閉場

元老院會議筆記明治十五年十二月十八日

○第三百六十二號議案株式取引所條例第一第二及第三讀會
中改正追加ノ儀

議長代理
東久世通禧

出席議員

- | | |
|----|-------|
| 一番 | 神田 孝平 |
| 三番 | 長岡 護美 |
| 四番 | 岩下 方平 |
| 六番 | 林 友幸 |
| 八番 | 伊集院兼寛 |
| 九番 | 渡邊 洪基 |
| 十番 | 柴原 和 |

- 十一番 津田 眞道
- 十三番 鍋島 直彬
- 十四番 河瀬 眞孝
- 十六番 大久保一翁
- 十九番 楠本 正隆
- 二十番 海江田信義
- 廿一番 箕作 麟祥
- 廿二番 榎村 正直
- 廿五番 津田 出
- 廿七番 黒田 清綱
- 廿八番 西 周

- 廿九番 渡邊 清
- 三十番 野村 素介
- 卅一番 鍋島 幹
- 卅二番 河田 景與
- 卅五番 本田 親雄

内閣委員 番外二番 参事院員外議官補鈴木 利亨

午前第九時五十五分開場

○議長 第三百六十二號議案第一讀會ヲ開ク

書記官 森山 茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十一年五月第八號布告株式取引所條例中左ノ通改正追加ス

第三十三條 取引所ニ於テ違約人ヲ處分スルハ其違約ニ依リ取引所ノ取引上ニ於テ失ヒタル利得ト蒙リタル損害トヲ其者ノ證據金及ヒ身元金ヲ以テ償ハシメ其者ヲ除名スルニ止ルヘシ而シテ仍ホ其損失ヲ償フコト能ハサルトキハ取引所ニ於テ其責ニ任スヘシ

第四十條 賣買主ニ於テ諸證據金ノ差入レヲ怠リ又ハ期限ニ至リテ其約定ヲ履行セサル者ハ都テ之ヲ違約人ト爲スヘシ

第四十九條 官員検査ノ節取引所役員及ヒ仲買人等簿冊書類ヲ差出スコトヲ拒ミ又ハ疑問ニ答辯ヲ爲サル者アルトキハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ヲ科スヘシ

第五十條 取引所ノ規約ニ背犯シタル役員及ヒ株主仲買人ヲ取引

所限リ處分スルノ方法ハ之ヲ除名スルカ或ハ過怠料ヲ取立ツル

ニ止ルモノトス

但其過怠料ハ株金身元金ノ高ニ超ユルヲ得ス

右奉 勅旨布告候事

○外番二番鈴木利亨 本案ハ農商務卿ノ上申ニ成リタルモノニシテ其第三

十三條ノ改正及第五十條ノ追加ヲ要スルハ本年第二十六號布告ヲ

以テ米商會所條例ヲ改正追加シタルヨリ之ト權衡ヲ失スルカ爲メ

ニシテ其第四十條ノ改正ヲ要スルハ十三年第二十一號布告ト矛盾

ノ姿アルニ依リ其第四十九條ノ改正ヲ要スルハ法律ニ明文ナキヲ

以テ往々支障ヲ生スルコトアルニ依テナリ各位幸ニ之ヲ諒シテ速

ニ議定アラシコトヲ希望ス

○議長 發議ナキヲ以テ第一讀會ハ此ニ畢ル

○番二番 鈴木 利亨 本案ハ急施ヲ要スルニヨリ引續第二及第三讀會ヲ開

カレンコトヲ請求ス

○議長 番外二番ノ請求ニ應シテ引續第二及第三讀會ヲ開クニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二十二人

○議長 多數ナルヲ以テ引續第二讀會ヲ開ク

書記官 森山 茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十一年五月第八號布告株式取引所條例中左ノ通改正追加ス

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立スヘシ

全員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山 茂 左ノ案ヲ朗讀ス

第三十三條 取引所ニ於テ違約人ヲ處分スルハ其違約ニ依リ取引

所ノ取引上ニ於テ失ヒタル利得ト蒙リタル損害トヲ其者ノ證據

金及ヒ身元金ヲ以テ償ハシメ其者ヲ除名スルニ止ルヘシ而シテ

仍ホ其損失ヲ償フコト能ハサルトキハ取引所ニ於テ其責ニ任ス

ヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本案ニ同意者ハ起立スヘシ

起立者二十二二人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ルヘシ

書記官

森山茂

左ノ案ヲ朗讀ス

第四十條 賣買主ニ於テ諸證據金ノ差入レヲ怠リ又ハ期限ニ至リ

テ其約定ヲ履行セサル者ハ都テ之ヲ違約人ト爲スヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ可決ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官

森山茂

左ノ案ヲ朗讀ス

第四十九條 官員検査ノ節取引所役員及ヒ仲買人等簿册書類ヲ差

出スコトヲ拒ミ又ハ疑問ニ答辯ヲ爲サル者アルトキハ五圓以

上五拾圓以下ノ罰金ヲ科スヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ可決ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官

森山茂

左ノ案ヲ朗讀ス

第五十條 取引所ノ規約ニ背犯シタル役員及ヒ株主仲買人ヲ取引

所限リ處分スルノ方法ハ之ヲ除名スルカ或ハ過怠料ヲ取立ツル

ニ止ルモノトス

但其過怠料ハ株金身元金ノ高ニ超ユルヲ得ス

右奉 勅旨布告候事

○九番

渡邊洪基

案中「處分スルノ方法ハ」トアルハ妥當ナラス蓋シ方法

ト云ハ、種々ノ仕方アルカ如シ然ルニ本案ノ意ハ止タ除名スルカ

或ハ過怠料ヲ取立ルニ過キス因テ「ノ方法」ノ三字ヲ削リテ處分ス

ルハト爲スヲ可トス

○一番

神田孝平

賛成ス「ノ方法」ノ三字ハ不用ナリ殊ニ本案第三十三條

ニ「取引所ニ於テ違約人ヲ處分スルハ云々」トアルニ本條ニ「處分ス

ルノ方法ハ云々」トアルトキハ其事殊別ナルカ如キ嫌ヒヲ生ス因テ

一ノ方法ノ二字ヲ削リテ前後文例ヲ同一ニスルニ如カサルナリ

○廿一番麟祥賛成ス本年第二十六號布告米商會所條例第十九條第

四節ノ文ヲ看ルニ恰モ目下九番發議ノ如ク文例ナルニヨリ本案モ亦之ニ倣フテ其文ヲ一ニスルヲ可トス

○議長 九番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス他ニ發議ナク
ンハ決ヲ取シ九番ノ修正說ニ同意者ハ起立スヘシ

○起立者二十一人

○議長 多數ナルヲ以テ九番ノ修正ニ決シ此ニ第二讀會ヲ畢リ引續

第三讀會ヲ開ク

書記官森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

布告案

明治十一年五月第八號布告株式取引所條例中左ノ通改正追加ス

○議長 發議ナキヲ以テ可決ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

第三十三條 取引所ニ於テ違約人ヲ處分スルハ其違約ニ依リ取引

所ノ取引上ニ於テ失ヒタル利得ト蒙リタル損害トヲ其者ノ證據

金及ヒ身元金ヲ以テ償ハシメ其者ヲ除名スルニ止ルヘシ而シテ

仍ホ其損失ヲ償フコト能ハサルトキハ取引所ニ於テ其責ニ任ス

ヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ可決ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

第四十條 賣買主ニ於テ諸證據金ノ差入レヲ怠リ又ハ期限ニ至リ

テ其約定ヲ履行セサル者ハ都テ之ヲ違約人ト爲スヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ可決ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

第四十九條 官員検査ノ節取引所役員及ヒ仲買人等簿冊書類ヲ差出スコトヲ拒ミ又ハ疑問ニ答辯ヲ爲サル者アルトキハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ヲ科スヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ可決ト認メ次條ニ移ルヘシ

書記官 森山茂 左ノ案ヲ朗讀ス

第五十條 取引所ノ規約ニ背犯シタル役員及ヒ株主仲買人ヲ取引所限り處分スルハ之ヲ除名スルカ或ハ過怠料ヲ取立ツルニ止ル

モノトス

但其過怠料ハ株金身元金ノ高ニ超ユルヲ得ス

右奉 勅旨布告候事

○議長 發議ナキヲ以テ可決ト認メ此ニ第三讀會ヲ畢ル決議ノ次第ハ例ニ遵ヒ上奏セン散會スヘシ

午前第十時十五分開場

元老院會議筆記明治十五年十二月二十五日

○第三百六十四號議案郵便檢視會條例

議長代理 東久世通禧

出席議員

- | | |
|----|-------|
| 一番 | 神田 孝平 |
| 三番 | 長岡 護美 |
| 四番 | 岩下 方平 |
| 六番 | 林 友幸 |
| 八番 | 伊集院兼寛 |
| 九番 | 渡邊 洪基 |
| 十番 | 柴原 和 |

十一番	津田 眞道
十三番	鍋島 直彬
十四番	河瀬 眞孝
十五番	伊丹 重賢
十六番	大久保一翁
十八番	細川潤次郎
十九番	楠本 正隆
二十番	海江田信義
廿一番	箕作 麟祥
廿二番	榎村 正直
廿四番	渡邊 驥

廿五番	津田 出
廿六番	關口 隆吉
廿七番	黒田 清綱
廿八番	西 周
廿九番	渡邊 清
三十番	野村 素介
卅一番	鍋島 幹
卅五番	本田 親雄

午前第九時五十分開場

○議長 第三百六十四號議案ノ檢視會ヲ開ク但本案ハ條項浩澁ナルニヨリ太政大臣通牒文ノ他ハ朗讀ヲ省ク可シ

○十三番 鍋島直彬

朗讀ニ先チ特別ノ建議ヲ爲ス本官ハ職ヲ本院ニ奉スル日尙ホ淺キヲ以テ未タ其慣例ヲ熟知セスト雖モ今回本院ノ檢視ニ付セラレタル所ノ本案ノ如キハ通常ノ檢視案トハ其性質相同シカラサルニ似タリ爰ニ本院ノ章程ヲ按スルニ其第五條ニ「議案本院ノ議定ニ係ル者ト檢視ヲ經ル者トノ類別アリ而シテ其別ハ内閣ニ於テ之ヲ定ム」トアリ是ニ由テ之ヲ觀ルニ議定ニ付ス可キ者ト檢視ニ付ス可キ者トハ本ト自ラ其別アリ而シテ之ヲ別ツハ内閣ノ任スル所ナリ又其第六條ニ「急施ヲ要スルノ事件元老院ノ檢視ヲ經ルニ暇アラサル者ハ内閣ヨリ便宜布告ノ後ニ檢視ニ付スル」トヲ得「トアリ是レ急施ヲ要シ檢視ヲ經ルニ暇アラサル者ニ係ル一法ナリ本官敢テ内閣ニ抵抗スルノ意アルニハ非サレトモ此郵便條例ノ如キハ是

唯數日前ニ本院ノ議定ニ付セラレタル者ヲ修正シテ之ヲ布告シタルニ過キサレハ今此布告後ニ檢視ニ付セラル、ヤ一物ニシテ議定ト檢視トノ二性質ヲ帶ヒタル如ク或ハ本院ノ章程ニ悖戾スル無キヲ得ルカ但シ本案ハ布告後ニ檢視ニ付セラレタル者ナレハ今日ニ在テハ復タ之ヲ奈何トモスル能ハスト雖モ幸ニ本官ト意見ヲ同ウスル議員アラシニハ之ヲ以テ議場ノ問題ト爲シ猶ホ此動議ニ多數ノ同意者ヲ得ルニ於テハ將來此ノ如ク本院ノ章程ニ悖戾スルノ措置ナカラシコトヲ議長ヨリ内閣ニ牒申セラレンコトヲ希望ス

○議長 檢視ノ事ニ關シテハ嚮日議長ヨリ其失當ナル所以ヲ大臣ニ具申セリ故ニ各位若シ其具申文ノ如何ヲ知ラント要セハ議長出院ノ際就テ觀ル可シ且本年モ最早餘日ナキヲ以テ十三番ニ於テモ此

動議ノ如キ之ヲ他日ニ讓ルヲ得ハ延期スルヲ可トス

○十三番 鍋島直彬

此事ニ關シテ議長ヨリ既ニ大臣ニ具申セラレタリトナレハ本官ノ建議ハ之ヲ收消シ他日其具申書ノ閱讀ヲ請フ可シ

書記官 森山茂 朗讀

本月九日議定上奏郵便條例制定ノ儀別冊ノ通修正便宜布告ノ後其院檢視ニ被付候事

明治十五年十二月十六日

太政大臣三條實美
元老院議長佐野常民殿

○十一番 津田真道

十三番ノ建議ハ自ラ之ヲ收消シタルヲ以テ此點ニ對シテハ敢テ多辨ヲ要セサル可キモ本官ヲ以テ之ヲ觀レハ元來本案ハ曩ニ本院ニ於テ議定上奏シタル者ヲ修正シ便宜布告シテ後チ本

院ノ檢視ニ付セラレタル者ニシテ本院ノ章程ニ悖戾スル如キノ點ハ毫モ之レ無ク即チ章程第六條ニ急施ヲ要スルノ事件元老院ノ檢視ヲ經ルニ暇アラサル者ハ内閣ヨリ便宜布告ノ後ニ檢視ニ付スル「トヲ得」ト掲載セリ惟フニ應サニ内閣ハ此條ヲ施用シタルナルヘシ元來檢視ノ一事ハ奇異ナル性質ヲ有シ甚タ失當ナル者ナリト雖モ斯ル章程アル以上ハ之ヲ奈何トモスル能ハス却說スルニ本案ハ此ノ如キ浩瀚ナル者タルニ拘ラス曩キニ本院ノ議定ニ付セラレタル時ニ在テ全部付託修正委員ハ僅ニ一兩日間ニシテ之ニ修正ヲ加ヘ又會議ニ於テモ施行期日ノ逼迫セル爲メ草卒ニ議了シ既ニ免稅郵便ノ章ノ如キ本官ハ本案ノ如クナラサル可カラスト思考シ第三讀會ニ於テ之カ動議ヲ發セントシタレトモ會マ某議官ヨリ議事ノ遷

延シテ施行上ニ不便ヲ來サンヲ恐レ其題號ヲ明治十六年郵便條例ト修正シテ先ツ之ヲ布告シ本官等ノ熟考ヲ經明年ヲ俟テ修正ノ意見書ヲ提出シ反覆討論シ而ル後チ始メテ永久ノ法ト爲スコシトノ發議アリテ議場ノ採用スル所トナレリ故ヲ以テ免稅郵便ノ章ニ關シテハ本官ハ更ニ異議ヲ發セサリシニ内閣ニ於テハ如何ナル所見ヲ以テセル乎當時恰モ本官ノ思考セシ如ク修正ヲ加ヘラレタリ然リ而シテ其之ヲ再議ニ付セラル、ハ當然ノ順叙ナルモ本年モ最早餘日ナキヲ以テ便宜布告セシ後ニ檢視ニ付セラレタルナラン果シテ然ラハ一議案ニテ二性質ヲ帶ルカ如シトノ說アルモ前ニハ議定ニ付セラル、ノ餘裕アリシニ後ニハ時日逼迫シテ其餘裕ナキヲ以テ本院章程第六條ニ依リ布告後ニ檢視ニ付セラレタルモノニシテ

是レ已ヲ得サル者トス且本案ハ極メテ明備ニシテ絶テ矛盾抵觸等ノ件項ナキニ因リ宜ク速ニ檢視ヲ經過シ上奏セララルヘキナリ

○十番 柴原和

本官モ十三番ノ如キ感觸ナキニアラス然レトモ備荒儲蓄法ノ如キハ本院ニ於テ廢案ト決セシモ内閣ハ之ヲ布告シ而ル後ニ檢視ニ付セラレタルノ例アレハ今本案ノ檢視ニ付セラレタルモ亦已ムヲ得サルナリ且此等ノ事ニ關シテハ既ニ議長ヨリ大臣ニ具申セラレタル所アリシハ本官ノ甚タ満足スル所トス抑モ此郵便條例ニ就テハ本官等ノ曩キニ全部付託修正委員ノ選ニ當リテ之カ修正ニ任シタル時ト雖モ其急施ヲ要セラル、カ爲メニ僅々一兩日間ニシテ之カ修正ヲ畢リシナレハ本官ハ當時既ニ免稅郵便ノ章中ニ於テ新聞原稿ノ一項ヲ削除センコトヲ欲セサルニ非サリシモ若シ

之ヲ改ムレハ各條ニ影響ヲ及スノ嫌ヒアリ且是等ノ款項ヲ修正スルニハ又更ニ幾許ノ日時ヲ費ヤシ内閣ノ急施ヲ要スル旨趣ニ戻ルト又此新聞原稿ノ一項ヲ削除スルヤ爲メニ民間ノ嗷ヤヲ來ストノ恐レ有ルヲ以テ遂ニ之ヲ主張セサリシナリ然ルニ第二讀會ニ方リ是等ノ修正ハ匿ニ一二時間内ニ之ヲ爲スヲ得可シトスル動議アリタレトモ其削除說ハ行ハレス而シテ第三讀會ニ至リ從來ノ郵便規則及罰則ノ如ク本案ハ一ケ年間施行ノ者ト爲サントノ動議アリ十四人ノ出席議官中之ニ同意スル者八人ナルヲ以テ終ニ其說ニ決セリ然レトモ當時本官ハ以爲ク本案ハ從來ノ郵便規則及罰則トハ本ト其文體モ同シカラス且案中ノ罰則ノ如キモ刑法ニ照準シテ之ヲ定メ頗ル其宜キヲ得タル者ナルヲ以テ之ヲ從來ノ郵便規則及罰則

ト同シク一ケ年間ノ施行ノミニ止ルハ不可ナリト因テ以テ之ヲ論辨シタリシハ各位ノ知レル所ナリ然ルニ内閣ニ於テハ恰モ本官ノ希望セル點ニ出テ之ヲ郵便條例ト改題シ以テ永久ノ法ト爲シタル如キハ大ニ本官ノ欣喜スル所ナリ且又免稅郵便ノ章中第三十八條ノ建白書ヲ首メ其他ノ數項ヲ刪除シタル如キハ其全篇ニ影響ヲ及シ頗ル容易ナラサル修正ナルニ亦匿ニ七日ヲ出サスシテ修正布告セラレタル等主任官ノ黽勉ナル眞ニ感服ニ堪エス然リ而シテ本案ハ十一番ノ說ノ如ク不明不備矛盾抵觸等ノ件項アルヲ見ス然ラハ則チ本案ノ布告後ニ檢視ニ付セラレタルハ遺憾ナルモ前ニ陳ル如ク之ヲ以テ一ケ年ヲ限り施行スル者ト爲サ、リシ如キハ本院ノ上奏案ニ比スルニ反テ優レル有ルヲ覺フ因テ速ニ檢視ヲ經過シ上奏

アラシコトヲ欲ス

○一番^{神田孝平} 本案ハ不明不備ノ件項ナク而シテ本院ノ章程上ニ疑議

ヲ插ミ一議案ニシテ議定ト檢視トノ二性質ヲ帶ル如シト爲スノ説ハ其理アルニ似タレトモ是レ本ト一ニシテ二ヲ帶ルニ非ス前ニ本院ノ議定ニ付セラレタル者ハ内閣ニ於テ之ヲ廢銷シ而シテ本案ハ其後更ニ編成シテ以テ檢視ニ付セラレタル者ト看做セハ則チ可ナラン因テ聊カ意見ヲ陳ヘ某議官ノ疑議ヲ釋カント欲スルノミ

○議長 發議已ニ盡タルヲ以テ決ヲ取ン本案ヲ不明不備且舊法ニ矛盾抵觸スル件項ナシト思考スル者ハ起立セヨ

起立者二十五人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ハ檢視ヲ經過セシ旨ヲ具シ例ニ遵ヒ上

奏セシ

右畢テ第三百七十號議案ノ第一讀會ヲ開ケリ

元老院會議筆記明治十五年十二月二十二日

禁傍聽

○第三百六十五號議案

府縣會規則中改正ノ儀一地方稅規則中追加改正ノ儀一府縣會規則第三十三條第一項ノ儀一府縣會議員聯合集會等禁止ノ儀

第一讀會

○第三百六十六號議案

府縣會規則改正布告案ノ追加ノ儀

議長 佐野常民

出席議員

一番 神田 孝平

三番 長岡 護美

四番 岩下 方平

六番 林 友幸

九番 渡邊 洪基

十番 柴原 和